

計画段階評価
第2回 説明資料

目 次

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 計画段階評価の検討の流れ | ・ ・ ・ 1 |
| 2. 第1回地域の意見聴取結果 | ・ ・ ・ 5 |
| 3. 政策目標の設定 | ・ ・ ・ 29 |
| 4. 対応方針（ルート帯案）の検討 | ・ ・ ・ 31 |
| 5. 第2回地域の意見聴取方法（案） | ・ ・ ・ 41 |

令和元年 1 2 月 4 日
国土交通省 東北地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ

○対象区間は石巻市蛇田の国道108号の起点となる国道45号接続部から石巻市北村に至る11kmの区間。

【図1】評価対象区間周辺の整備状況



■第19回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：平成30年1月30日(火)開催

主な議事：①地域の状況と課題

②道路の状況と課題

③課題の整理

④意見聴取方法

●前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
(意見聴取項目について) ・地域の課題・道路に必要な機能のアンケート項目(問2,問3)は内容が類似しているため、質問項目を再検討すること。	・地域の課題についての質問の後に、どの課題を道路整備で優先的に解決すべきか質問する方式に変更。(P11,P13)
(意見聴取方法について) ・意見聴取の際、交通弱者の意見も取り入れられるようにヒアリング・アンケート先を検討すること。	・ヒアリング先に石巻市内の福祉団体を追加。(P6)
(ルート帯の設定について) ・渋滞箇所など、新しい課題が発生しないように検討すること。	・ルート帯案の検討にあたっては、現況の交通量や道路構造を確認し、交通容量に余裕のある区間に接続することとした。
(地域の課題の設定について) ・国道108号と国道47号を介した石巻港と酒田港の連携による物流の活性化や石巻～新庄～酒田に至る広域周遊観光等の形成も考えられるため地域の将来像を把握する上で留意すること	・既定の地域の総合計画や基本計画をレビューする上での視点として把握する。

1-3. 今後の計画段階評価の進め方（案）

○地域住民や道路利用者の意見を聞きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

計画段階評価

今回

東北地方小委員会
（第1回）
【平成30年1月30日】

- 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール（案）
- 地域、道路交通の現状と課題
- 意見聴取方法

意見聴取
（第1回）
【平成30年8月28日
～10月24日】

- 地域、道路の課題
- 意見聴取方法
<ヒアリング>
対象：関係自治体
企業 等
- <アンケート>
対象：道路利用者
地域住民
企業 等

東北地方小委員会
（第2回）
【令和元年12月4日】

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の設定
- 対応方針（ルート帯案）の検討
- 第2回意見聴取方法

意見聴取
（第2回）

- 対策案選定時に重視する政策目標・配慮事項
- 意見聴取方法
<ヒアリング>
対象：関係自治体
企業 等
- <アンケート>
対象：道路利用者
地域住民
企業 等

東北地方小委員会
（第3回）

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対応方針（案）の検討（概略ルート・構造 等）

対応方針の決定（概略ルート、構造等）

地方小委員会

2. 第1回地域の意見聴取結果

2-1. 第1回地域の意見聴取の実施内容

○第1回地域の意見聴取では地域住民・事業者等・道路利用者へアンケート調査、関係団体へヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間:平成30年8月28日(火)～10月24日(水) (アンケート調査期間:平成30年9月25日(火)～10月24日(木))

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケートによる意見聴取の対象

項目	調査対象者	調査手法・規模
地域住民	石巻市・東松島市 女川町・涌谷町 美里町・大崎市	全戸配布(146,652票) 広報誌に挟み込み送付、郵送回収 WEBアンケート
事業者等	宮城県内の国道47号・108号沿線地域の企業 宮城県及び山形県のトラック協会会員企業	郵送配布、郵送回収 WEBアンケート
道路利用者	広域の道路利用者	WEBアンケート 留置(市町役場・各支所、道の駅)

【表3】ヒアリング調査による意見聴取の対象

項目	
関係団体	○教育機関【8機関】
	○福祉団体【2団体】
	○自治体【6団体】
	○トラック協会【5団体】
	○観光協会【6団体】
	○商工会・商工会議所【8団体】
	○主要企業【11社】
	○消防機関【2団体】
	○医療機関【3機関】
	○農業協同組合【2団体】
○バス事業者【2団体】	
○日本自動車連盟【1団体】	
○タクシー協会【1団体】	
計57機関	

【表2】意見聴取結果

調査票形式		配布回収数		
		配布数	回収数	回収率
地域住民・道路利用者	広報誌配布・郵送回収	146,652	2,078 (3,476)	1.4%
	留置き			
	WEB	—	283	—
	イベント	—	288	—
	合計	—	2,649 (4,047)	—
事業者等	郵送配布・郵送回収	633	210	33.2%
	WEB	—	30	—
	合計	—	240	—

※1:住民アンケートには回答ハガキを2枚同封
回収数・回収率は、配布したアンケート調査票のうち1枚目の回収数・回収率
括弧内の回収数は1枚目・2枚目を合計した回収数

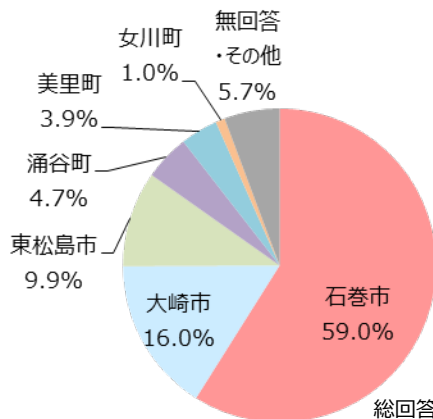
【図1】第1回意見聴取住民アンケート配布地区



- 回答の地域区分については評価対象区間の所在地である石巻市の居住者から約6割の回答を得た。
- その他の地域からの居住者からも一定の回答を得ることが出来た。

質問 あなたについてお聞かせ下さい (回答者の属性:地域区分)

【図1】回答者居住地分布



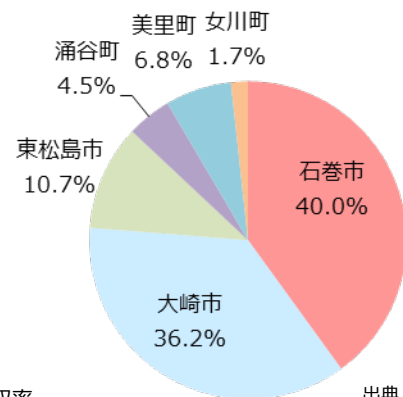
総回答数=4,047

【表1】回答数とその割合

項目	回答数	割合	回収率*
石巻市	2,386	59.0%	2.0%
大崎市	646	16.0%	0.7%
東松島市	399	9.9%	1.4%
涌谷町	190	4.7%	1.5%
美里町	156	3.9%	0.9%
女川町	39	1.0%	0.7%
無回答・その他	231	5.7%	
計	4,047		

*回収率は、郵送配付したアンケート調査票1枚目の、配布世帯数に対する回収率

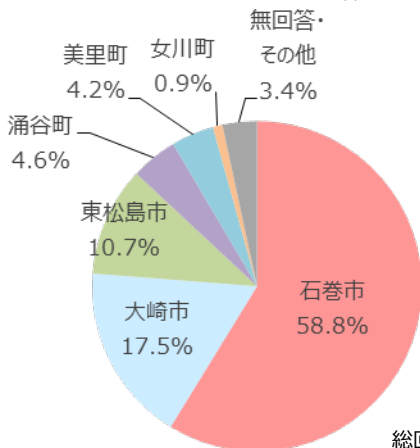
【参考】市町別世帯数の割合



出典：H27国勢調査

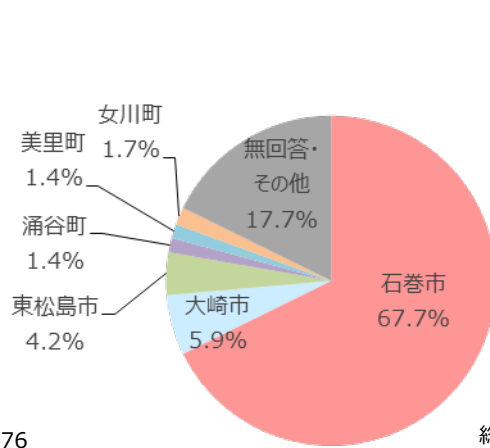
<聴取方法別>

【図2】回答者居住地分布 (郵送配布+留置き)



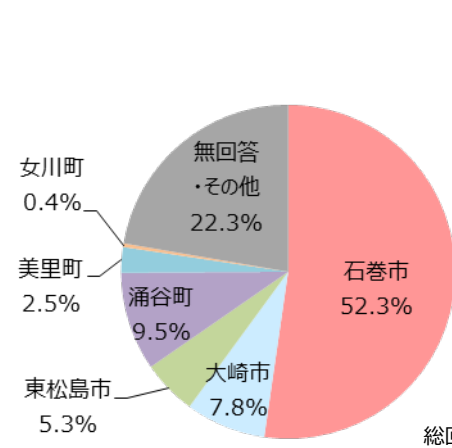
総回答数=3,476

【図3】回答者居住地分布 (イベント)



総回答数=288

【図4】回答者居住地分布 (webアンケート)



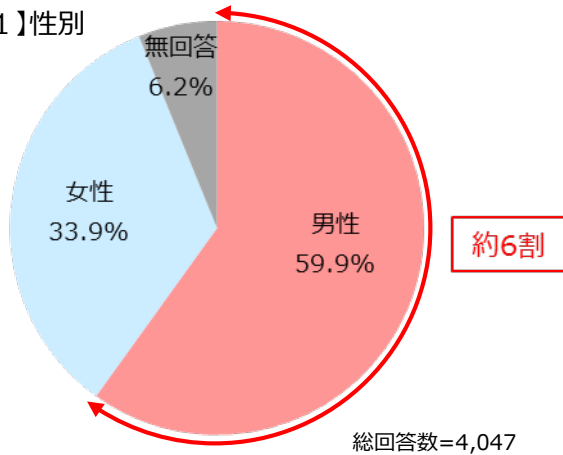
総回答数=283

2-3. 住民等への意見聴取の結果(属性)

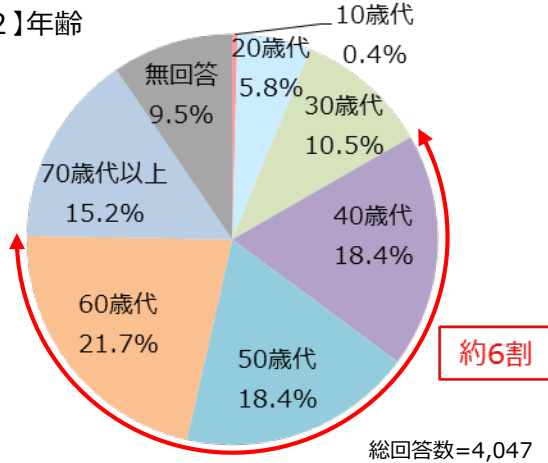
- 性別は男性が約6割、年齢構成は40～60代が約6割を占め、対象地域の統計データと比べ高い。
- 職業の聞き取りでは、就業者の回答割合が約6割を占め、対象地域の就業率とほぼ同程度。

質問 あなたについてお聞かせ下さい(回答者の属性:性別、年齢、職業)

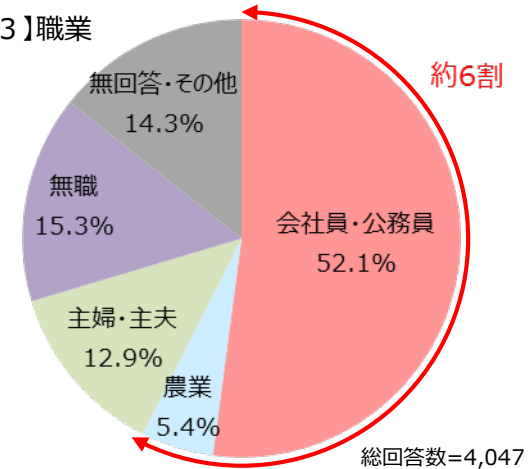
【図1】性別



【図2】年齢

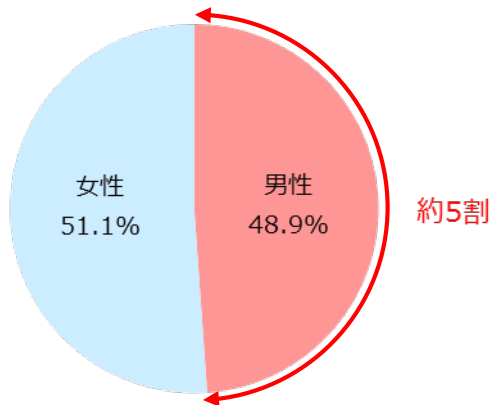


【図3】職業



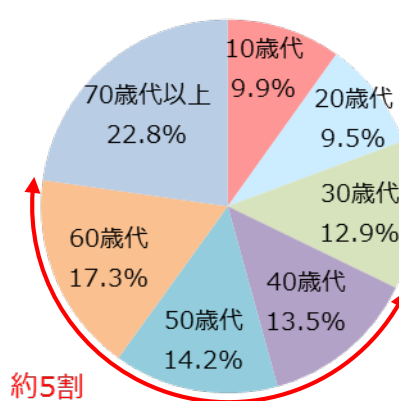
【参考】アンケート対象地域の性別比率

(石巻市、大崎市、東松島市、涌谷町、美里町、女川町)



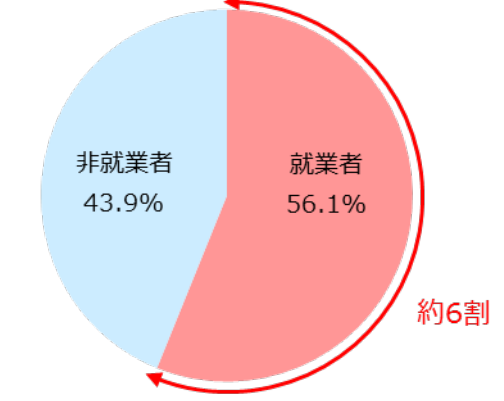
【参考】アンケート対象地域の年齢構成

(石巻市、大崎市、東松島市、涌谷町、美里町、女川町)



【参考】アンケート対象地域の就業率

(石巻市、大崎市、東松島市、涌谷町、美里町、女川町)



※就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

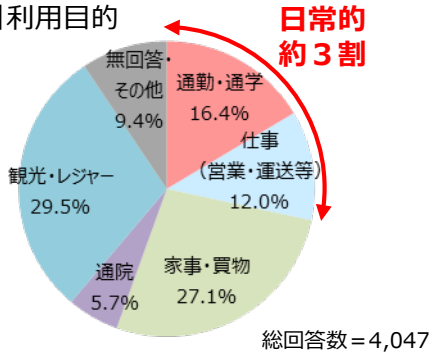
2-3. 住民等への意見聴取の結果(利用目的・手段・頻度)

- 利用目的は日常的な利用目的が約3割を占め、利用頻度は週数回以上の利用が約4割を占める。
- 利用手段は「自動車」が9割以上だが、「自動車以外(公共交通、バイク、自転車、徒歩)」からも回答を得られた。
- 利用目的別の利用頻度を確認すると、「通勤・通学」(ほぼ毎日が8割)に加え、「家事・買物」や「通院」「仕事」での利用も多い。
- 地域別の利用頻度で見ると、対象区間に近い石巻市、涌谷町の利用頻度が高い傾向にある。

質問1 国道108号「石巻市河南地区」の道路利用について、お聞きします。

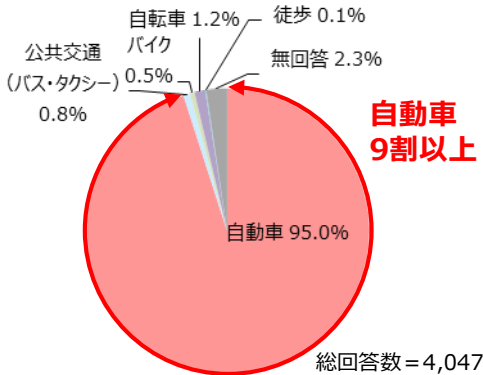
質問1-A 利用目的

【図1】利用目的



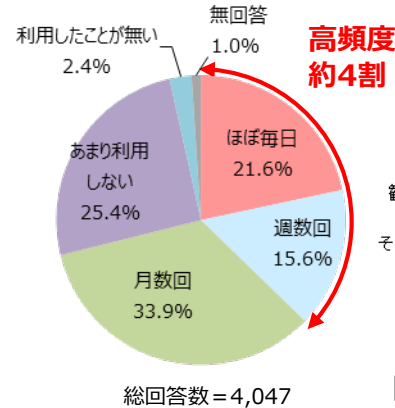
質問1-B 主な利用手段

【図2】利用手段

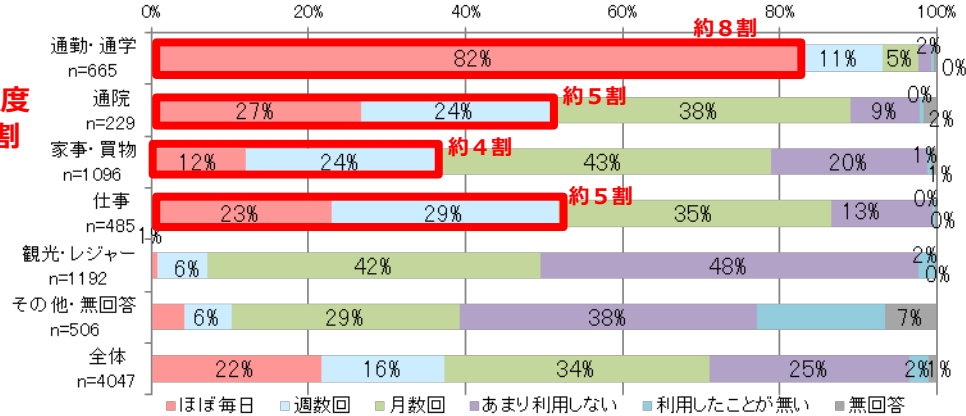


質問1-C 利用頻度

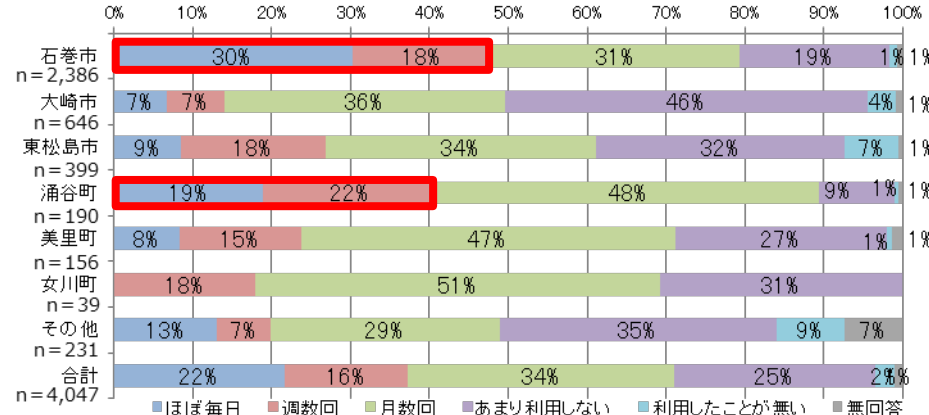
【図3】利用頻度



【図4】利用目的別利用頻度



【図5】自治体別利用頻度

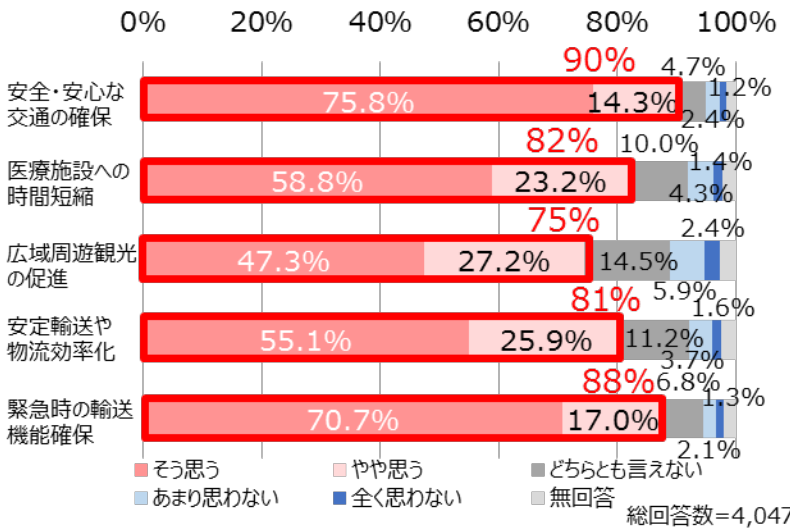


2-3. 住民等への意見聴取の結果(地域・国道108号の課題)

- 提示した各課題全てに、7割以上は課題と感じている回答が得られた。
- また、道路の利用頻度が高い利用者ほど提示した課題に対して共感が高くなる傾向。

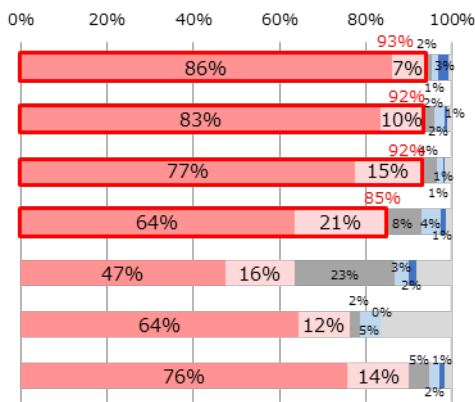
質問2 「石巻市河南地区」の将来を見据えた地域の課題(案)について、「そう思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題

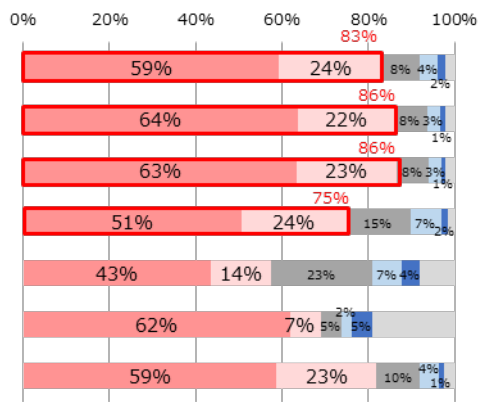


【図2】利用頻度別集計

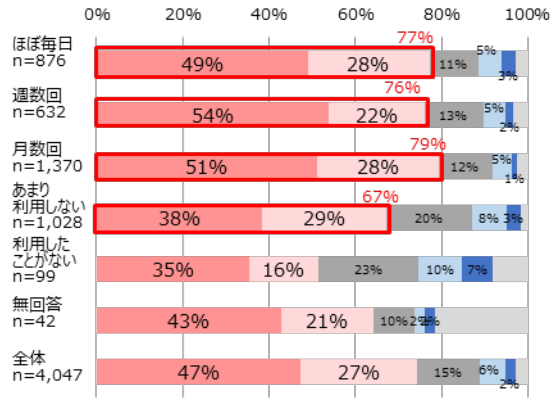
〔安全・安心な交通の確保〕



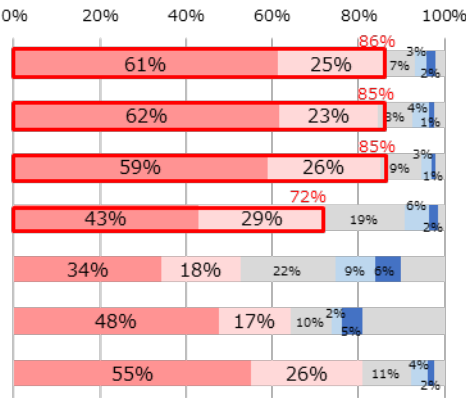
〔医療施設への時間短縮〕



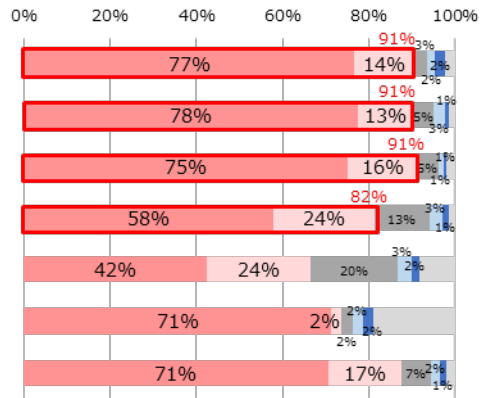
〔広域周遊観光の促進〕



〔安定輸送や物流効率化〕



〔緊急時の輸送機能確保〕



2-3. 住民等への意見聴取の結果(地域・国道108号の課題)

○課題に関する自由意見について、5つの課題では、「安全・安心」に関する意見が多く、道路構造に起因した課題について意見を頂いた。

○5つの課題以外では、車線の増量や高規格道が必要など「道路構造」と「道路整備」に関する意見が多い。

質問2 「石巻市河南地区」の将来を見据えた地域の課題(案)について、思うことがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題についての主な意見

課題	主な意見	
安全・安心 【68件】	<ul style="list-style-type: none"> ・菰継～畳石は国道なのにせまくて、歩道を歩いても、車がつっ込んできそうです。幅を広く出来る所は即刻直して頂きたいものです。 ・広渕の町中での直角に移動する所の渋滞。 ・広渕は大型車両が多い。部分的な改良だけでは108号問題を処することできない。 	
医療連携 【3件】	<ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送のしやすい道路作りを第一に考えるべき。 ・河南地区からのスムーズな搬送のため三陸道へのアクセスを良くしてほしい。 	
周遊観光 【4件】	<ul style="list-style-type: none"> ・山形、秋田方面への観光、物流の動脈としての役割を持っている。 ・経済、観光、流通すべてにおいて早急に推進、宮城県内のみならず東北の発展に必要である。 	
地域産業支援 【5件】	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の効率化の為、道路の幅を広げてほしい。 ・大崎、酒田、最上との物産・産業面における交流につながる。 	
緊急輸送【17件】	<ul style="list-style-type: none"> ・以前広渕付近に勤めていたが、震災時、沿岸から逃がれてきた車で通れなかった。広くしてほしい。 ・石巻地域から内陸部への避難経路を複数確保できる様にすべき。 	
その他	道路整備 【57件】	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸自動車道と東北自動車道を結ぶ高規格道路が必要と思う。 ・日本海と太平洋を結ぶ最短路線だからもっと本気で取り組むべき。 ・対象区間の整備は対象地域住民及び利用するドライバーの悲願なので、早期整備することを期待する。
	道路構造 【53件】	<ul style="list-style-type: none"> ・車線の増量。 ・道路・歩道の幅員の十分な確保、設置接続県・市町村道との連携改善。
	混雑・利便性 【29件】	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が混んでアクセスが悪い。 ・石巻～苦川間の時間短縮が必要である。
	その他 【58件】	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により運転状況もまちまちだが、交通量の変化が心配である。 ・国道の割には道が狭く、家に近いので、騒音が問題となっている。

課題5項目が33%【5項目(97件)／全体計(294件)】

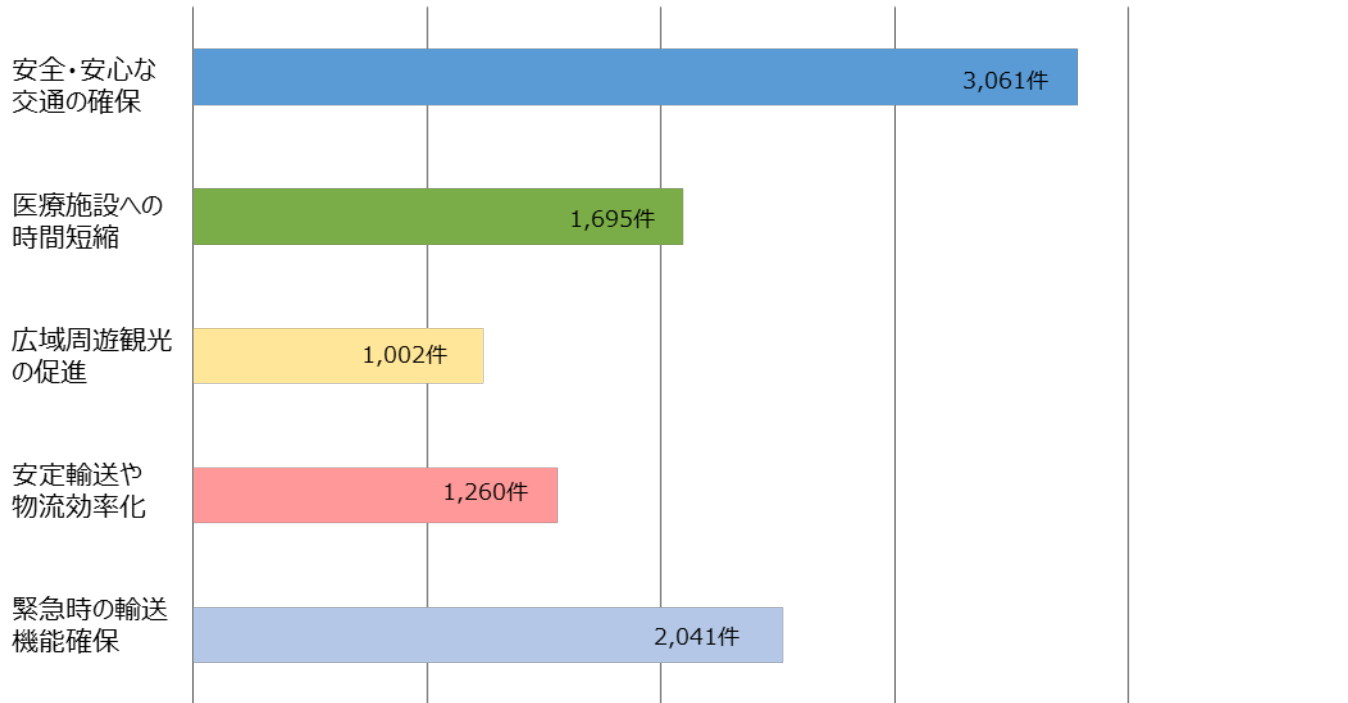
課題に対する自由意見回答者数: 294人

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分野の回答者は重複している。

- 5つの課題全てに対して、「道路整備により優先的に解決すべきである」と感じている。
- 道路整備により優先的に解決すべき課題として、「安心・安全な交通の確保」と回答した人が最も多く、次いで「緊急時の輸送機能確保」と回答した人が多い。

質問3 「石巻市河南地区」の将来を見据えた地域の課題(案)のうち、道路整備により優先的に解決すべきと思う課題を選んでください。

【図1】道路整備により優先的に解決すべき課題



総回答数=4,047件
回答選択総数=9,059件

○提示した地域の課題5項目に関する意見が大部分で、特に意見の多かった「安全・安心」は固有の地区において様々な指摘をうけており、現地状況を把握のうえ整理が必要。

質問4 国道108号「石巻市河南地区」全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

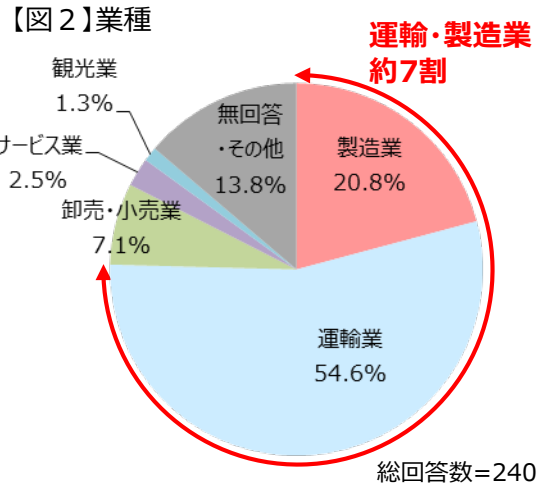
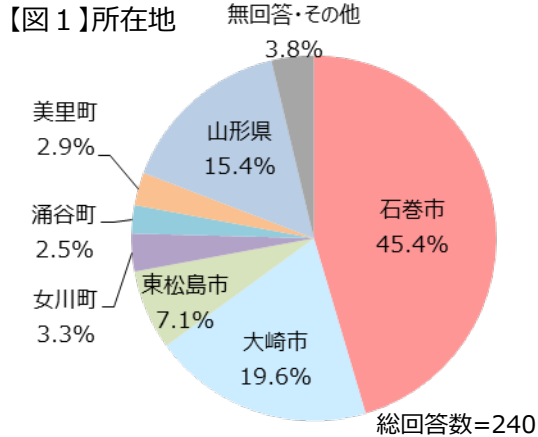
【表1】課題についての自由意見

地域の課題	住民からの主な意見
安全・安心 【658件】	<ul style="list-style-type: none"> 国道ですが周辺の方にとっては農道に近い、高齢者の横断やドライバーも多いし通学路で子供も多い。特に広瀬は大型の特殊車両も沢山通り危険だし、道路が狭く、渋滞も多く不便。道路の幅とトラックの幅が同じ、もしくはそれ以上の時がある。 菰継～置石は道幅が狭く、時間によって渋滞する。 石巻河南ICがある県道が国道でないのが不思議。走りやすい県道のほうを利用している。 国道108号の丸井戸～菰継は沿線の民家で拡幅は難しい。 震災後、内陸部、特に蛇田地区に住居及び工業団地等が移転したことで車両の往来が多くなって来たことから整備する必要があると感じている。
医療連携 【42件】	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な救急医療機関への搬送、今の国道108号の現況では難しい局面が多い。 直角のカーブは救急車両等の通行に大きな支障があるので、優先的に対応した方が良いと思う。
周遊観光 【48件】	<ul style="list-style-type: none"> 石巻市街地は観光する場所が多いので、早くアクセスできるようにしてほしい。 石巻市街地から河南地区まで利便性を良くしてほしい。 沿岸地域から鳴子方面に行くのに時間がかかりすぎる。内陸方面への移動がスムーズになるように期待する。
地域産業支援 【455件】	<ul style="list-style-type: none"> 輸送効率の向上に伴い車両が大型化。特にトレーラー輸送が増加しているが、幅員が狭い。 道路を整備することで石巻工業港などの利用、活用にも幅が出てくるのではないかと期待される。 国道108号を片側2車線化し、内陸(山形等日本海側)との物流・輸送を強化したら良いと思う。
緊急輸送 【84件】	<ul style="list-style-type: none"> 太平洋側と日本海を結ぶ最短の横断道路として石巻～酒田間の整備を早急に進めるべきと思う。災害時等の緊急輸送道路の確保。 災害時は、物資輸送ルートとなることから線形不良箇所の早期整備が必要。 災害時の西部方面への避難路として必要。特に三陸道が混雑した場合に必要である。

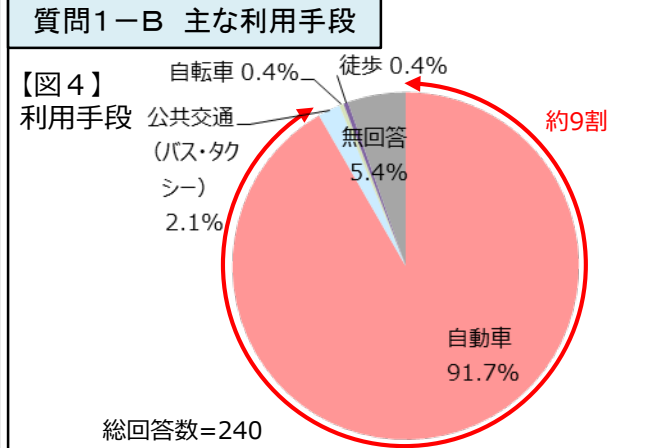
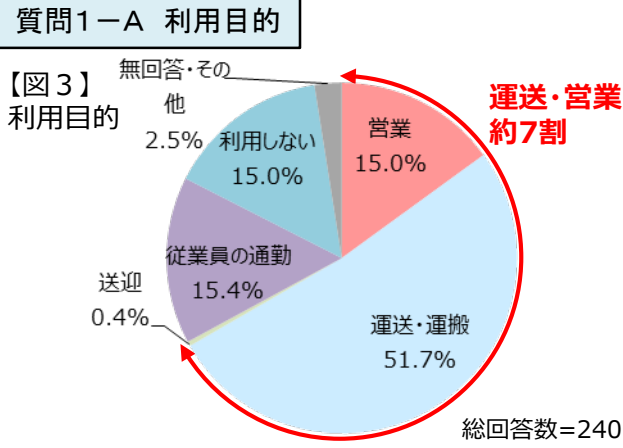
2-4. 事業者への意見聴取の結果(業種・利用実態等)

○業種は「運輸業」が約5割、「製造業」が約2割を占めた。また、利用目的では「運送・運搬」と「営業」を合わせて約7割を占め、沿線地域の流通や企業活動で多く利用されている。
 ○利用頻度では利用が多い方の意見と少ない方の意見それぞれの回答が得られた。
 また、利用目的を「営業」「運送・運搬」「従業員の通勤」と回答した事業者の利用頻度が高い。

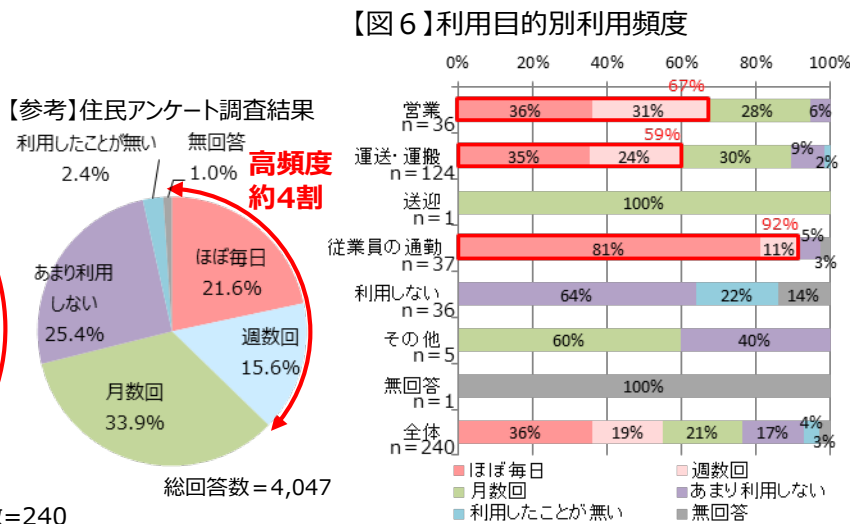
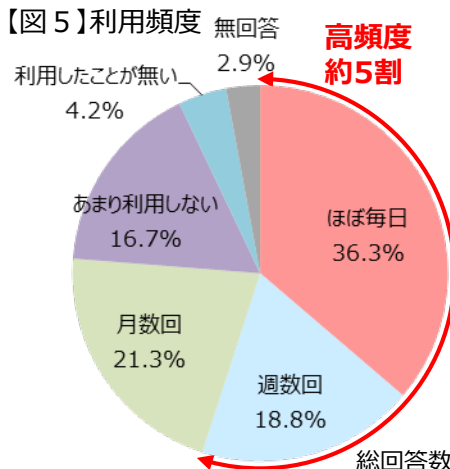
質問 貴事務所についてお聞かせ下さい
 (回答者の属性:所在地、業種)



質問1 国道108号^{いしのまき}「石巻市河南地区」^{かなん}の道路利用について、お聞きします。



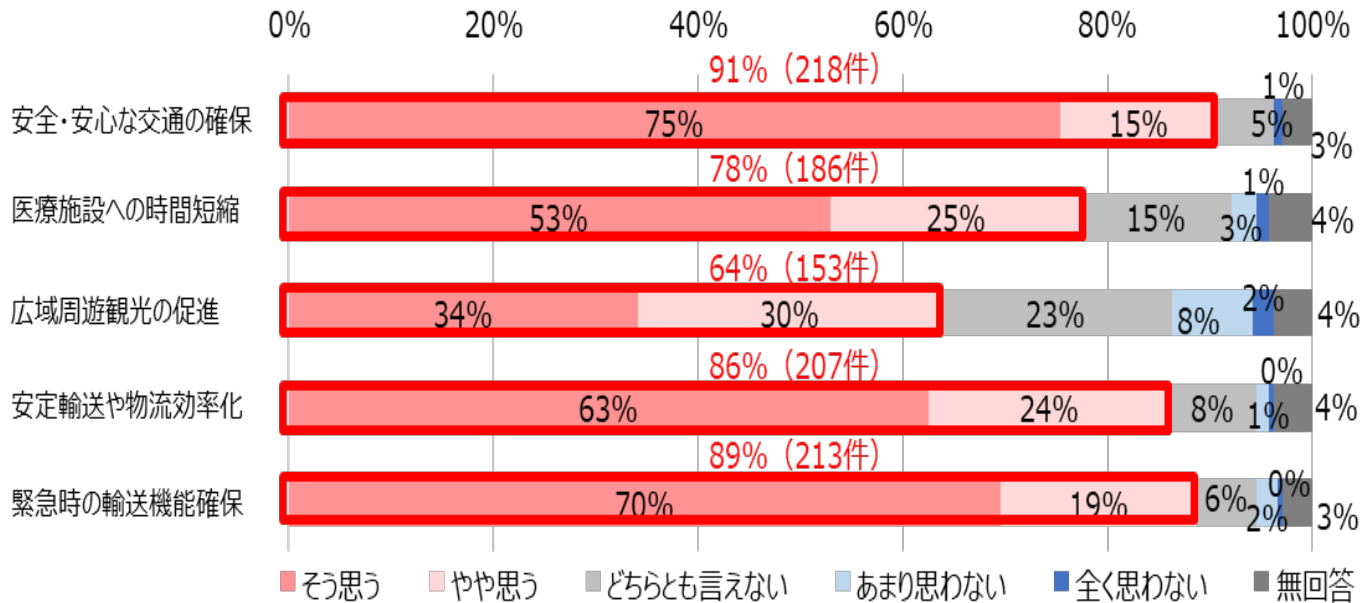
質問1-C 利用頻度



○質問2の提示した各課題全てに、事業者の6割から9割が課題と感じていると回答が得られた。

質問2 「石巻市^{いしのまき}河南^{かなん}地区」の将来を見据えた地域の課題(案)について、「そう思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題



総回答数=240件

○質問2の地域の課題(案)に関する自由意見は、7件の意見を頂いたが、いずれも否定的な意見はなかった。

質問2 「石巻市^{いしのまき}河南^{かなん}地区」の将来を見据えた地域の課題(案)について、思うことがあればご自由にお書きください。

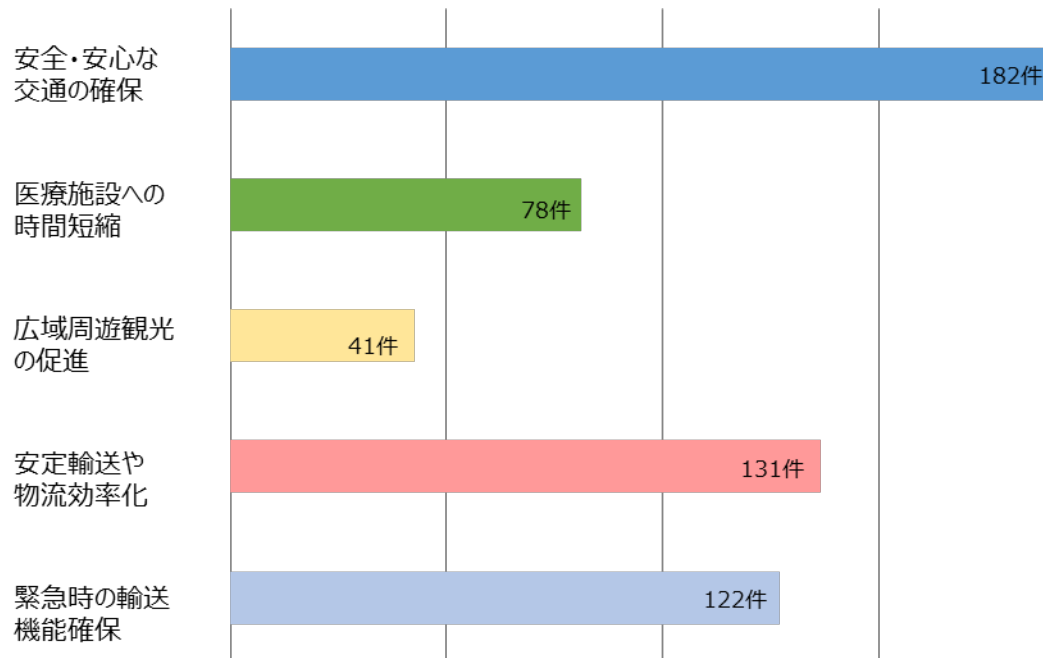
【表1】課題についての自由意見

課題		課題を補足する意見
	安全・安心 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 近年、車両が大型化しているが、道幅が狭いので、歩行者、自転車などの危険個所が多数ある。
	地域産業支援 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 山形県、酒田市までの輸送の高速化、効率化が必要である。
その他	道路整備 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 市街地へのアクセス道路の整備が必要である。
	道路構造 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 道幅が狭い箇所が多く、交差点が狭く急である。置石^{たたみいし}から広瀬^{ひろがら}までを大型車対応にしてほしい。 大型が通るのに道幅がせまい。
	早期の実現 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 将来的にではなく、早急に対応することが最大の課題である。
	混雑・利便性 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 県道、市道からの車の出入りによる車両の増加での渋滞を緩和してほしい。

○質問3について、課題5項目のうち、「安全・安心な交通の確保」「安定輸送や物流効率化」「緊急時の輸送機能確保」は、道路整備により優先的に解決すべきという回答が多い。

質問3 「石巻市^{いしのまき}河南^{かなん}地区」の将来を見据えた地域の課題(案)のうち、道路整備により優先的に解決すべきと思う課題を選んでください。

【図1】道路整備により優先的に解決すべき課題



総回答数=240件
回答選択総数=557件

- 事業者からの自由意見は、住民と同様に、地域の課題5項目に関する意見が多く、中でも「安全・安心」、次いで「地域産業支援」に関する意見が多い。
- なお、「安全・安心」についての意見は、住民アンケート同様固有の地区において様々な指摘。現地状況を把握のうえ整理。

質問4 国道108号「石巻市^{いしのまき}河南^{かなん}地区」全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

【表1】課題についての自由意見

地域の課題	事業者からの主な意見
安全・安心 【34件】	<ul style="list-style-type: none"> 大型車両の利用には、^{ひろがら}広淵は道が狭く、急カーブが多く危険度が非常に高く、心配である。(運輸業) 震災以降内陸地への移転により、朝夕はじめとした交通量が増加したため、通学時の安全性と車両を運転する側の安全性の確保を早急にしてほしい。(卸売・小売業)
医療連携 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 幅員が狭く、救急車での追い越しが困難である。(消防本部)
周遊観光 【3件】	<ul style="list-style-type: none"> 日本海と太平洋側を結ぶ道路が整備されれば、観光等に多大な効果が出ると思う。(製造業)
地域産業支援 【28件】	<ul style="list-style-type: none"> 道幅も狭く、急カーブが多いため、大型車での通行は非常にむずかしい。(サービス業) 太平洋側と日本海側との物流効率化を図り、輸送機能を確保するため早期に整備してほしい。(運輸業)
緊急輸送 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の道路確保として整備が必要である。(製造業)
その他	道路整備 【7件】 <ul style="list-style-type: none"> 石巻～新庄間の高速道路整備が必要である。(その他) 石巻→由利本荘又は石巻→庄内地域までずっと片側1車線であり通行の円滑化の為に部分的にでも複車線化を望む。(製造業)
	渋滞 【2件】 <ul style="list-style-type: none"> 石巻市内がいつも渋滞気味。(運輸業) 大崎までの時間短縮が必要だと思う。(卸売・小売業)
	反対意見 【2件】 <ul style="list-style-type: none"> 人口・車が減少しているなか、道路整備がそれほど必要に思わない。他に税金の使いみちがあるのでは？(卸売・小売業)

○アンケート調査で得られた課題に対する視点について、それぞれの関係団体の見地から専門的意見を頂き、問題点を明確にし、課題の再整理を行う。

○それぞれ固有の地区についての指摘を伺っており、現地状況を把握のうえ整理。

【表1】関係団体ヒアリングの主な意見

項目		主な意見
課題に対する意見	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 丸井戸～菰継間は狭く、見通しが悪いと感じるが、幅員の広い県道が並行しているためそちらを通る。(観光協会) 菰継～畳石のあたりは道路が狭く、カーブが多くて見通しの悪い区間がある。(教育機関) 直角曲がりの広瀬交差点では、大型車が先頭で信号停止する場合は、停止線手前で停止しないとすれ違いに支障が生じる。(運輸業者)
	医療連携	<ul style="list-style-type: none"> 河南地区からの出動では広瀬地区を通過するが、大型車の走行が多く、見通しが悪いこともあり、救急車の走行が困難な区間が続き、追い越しがしにくい。畳石～菰継交差点は道路幅が狭く、交通量が多いため渋滞しており、スムーズな患者の搬送に問題が生じている。(消防本部) 周辺(涌谷町、美里町)には夜間急患の受け入れ施設がなく、石巻市夜間急患センターは広域的に必要。来院時、夜間に安全走行が出来て、所要時間短縮が図れることが重要(医療機関)
	周遊観光	<ul style="list-style-type: none"> 中心部が盛り上がらないと周辺地域は活性化できない、道路整備への期待は大きく、三陸沿岸道路と共に機能しアクセスルートとなる、国道108号の石巻河南ICから河南地区へ通じる区間が整備されるべき。(観光協会) 東西方向道路が弱くてアクセスに時間がかかりすぎる。周遊観光に対応できていない。(観光協会)
	地域産業支援	<ul style="list-style-type: none"> 石巻港から石巻港インター線を走り、畳石交差点から国道108号で荷物を搬送するが、その際道幅が狭くて減速させざるを得ず、安全運転に気を使いながら走行しているので、道路幅が広くトレーラーが自由に曲がれる道路が必要。(製造業者) 須江地区から気仙沼方面へ向かう際は石巻河南ICを使うが、最近では国道の交通量が増えて渋滞している。(運輸事業者) 石巻市街地から内陸に向かう配送の時は、国道には自転車がいって危ないので、県道を必ず使っている。(運輸事業者) 広瀬交差点は主方向が屈曲しており反対車線にはみ出して輸送する必要があるため、10t積車両3台程度に分割して輸送せざるをえず、コスト面などで非効率。(運輸事業者)
	緊急輸送	<ul style="list-style-type: none"> 震災時に渋滞があり救急車が通れなかった。災害時は渋滞で緊急車両が通れないことがある。(医療機関) 過去の地震で河南地区(旧河南町)は、家屋の倒壊などで道路が使えず、医療品の確保など困難だった。(医療機関)
その他	早期実現	<ul style="list-style-type: none"> 近年道路整備がスピーディーに行われていない印象があり、改善を期待したい。(教育機関) 費用・時間を考えスピーディーな整備を希望。(サービス事業者)

2-6.地域の意見聴取（第1回）の結果のとりまとめ

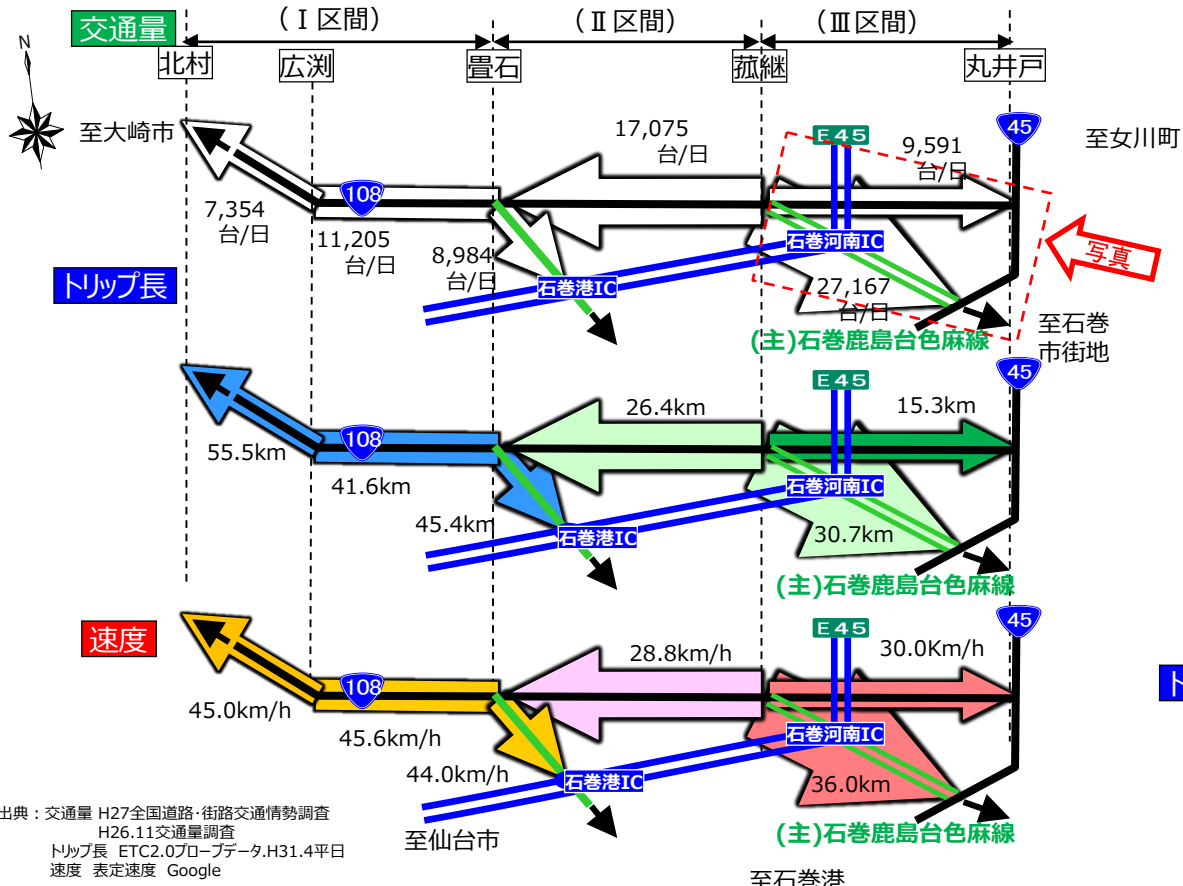
アンケート・ヒアリング

【表1】意見聴取結果のとりまとめ

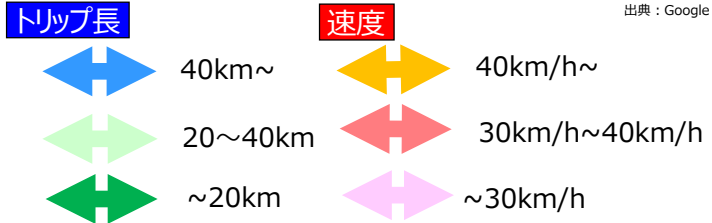
地域の課題	(Ⅰ区間) 北村交差点～畳石交差点	(Ⅱ区間) 畳石交差点～菰継交差点	(Ⅲ区間) 菰継交差点～丸井戸交差点
安全・安心	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広淵は道路が狭く、渋滞も多く不便。 <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直角曲がりの広淵交差点では、大型車のすれ違い困難。（運送業者） 	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災以降内陸地への移転により交通量が増加。（卸売・小売業） <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菰継～畳石は道幅が狭く、時間によって渋滞する（教育機関） 	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・108号の丸井戸～菰継は沿線の民家で幅は難しい。 <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅員の広い県道が並行しているためそちらを通る。（観光協会）
医療連携	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭く救急車での追い越しが困難（消防本部） <p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直角のカーブは救急車両等の通行に大きな支障がある <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型車の走行が多く、見通しが悪いため追い越しがしにくい。（消防本部） 	<p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量が多く渋滞しており、スムーズな搬送に問題（消防本部） 	
周遊観光	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市街地は観光する場所が多いので、早くアクセス道をつくってほしい。 ・石巻市街地から河南地区まで利便性を良くしてほしい。 <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心部が盛り上がらないと周辺地域は活性化できない。（商工会） 		
地域産業支援	<p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道幅も狭く、急カーブが多いため、大型車での通行は非常にむずかしい。（サービス業） <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻港から石巻港インター線を走り畳石交差点から国道108号で荷物を搬送。道幅が狭く減速させざるを得ず、運転に気を使う。（製造業） ・10t積車両3台程度に分割して輸送せざるをえず、コスト面などで非効率。（運輸事業者） 	<p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須江地区から石巻河南ICへ向かう時、最近国道の交通量が増えて渋滞。（運輸事業者） 	<p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市街地から内陸に向かう時、国道には自転車がいって危ないので、県道を使う。（運輸事業者）
緊急輸送	<p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災時に渋滞があり救急車が通れなかった。災害時は渋滞で緊急車両が通れないことがある。（医療機関） ・過去の地震で河南地区（旧河南町）は、家屋の倒壊などで道路が使えず、医療品の確保など困難だった。（医療機関） 		

- 意見聴取を踏まえ対象区間の交通特性を分析した結果、交通量・混雑状況・利用特性について区間内で変化が生じている。
- 北村交差点～豊石交差点間（Ⅰ区間）については平均トリップ長が長く主として石巻港発着の物流経路として利用されているものと考えられる。
- 豊石交差点～菰継交差点（Ⅱ区間）については対象区間内で最も交通量が多くボトルネック区間となっている
- 菰継交差点～丸井戸交差点（Ⅲ区間）については交通量は少なく平均トリップ長も極めて短い、並行する主要地方道石巻鹿島台色麻線において交通量が多く平均トリップ長が長く幹線道路として利用されているものと考えられる。

【図1】国道108号起点～北村 各区間の交通量・トリップ長・平均速度



【図2】国道108号 起点～菰継交差点の状況



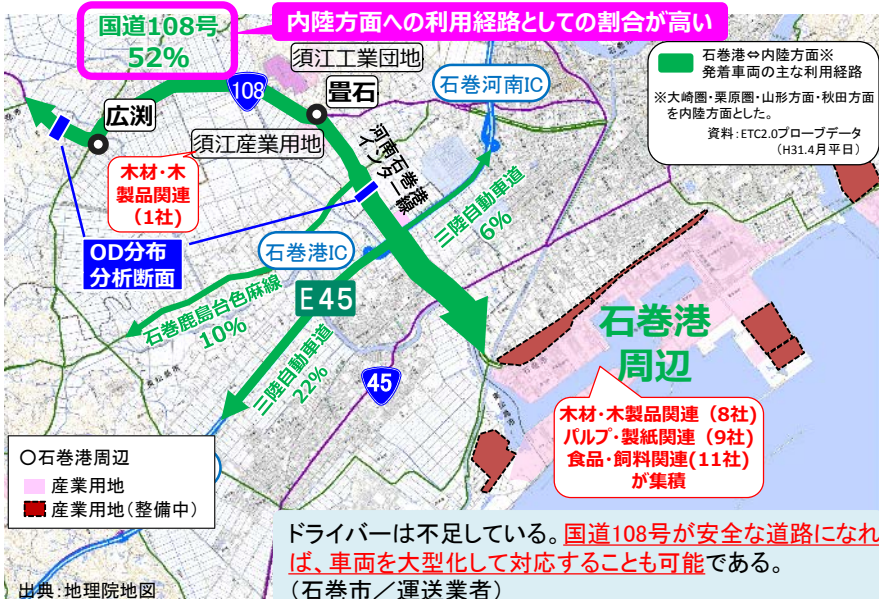
出典：交通量 H27全国道路・街路交通情勢調査
 H26.11交通量調査
 トリップ長 ETC2.0フローデータ.H31.4平日
 速度 表定速度 Google

2-7.意見聴取を踏まえた課題の再整理（I 区間物流ネットワーク） 24

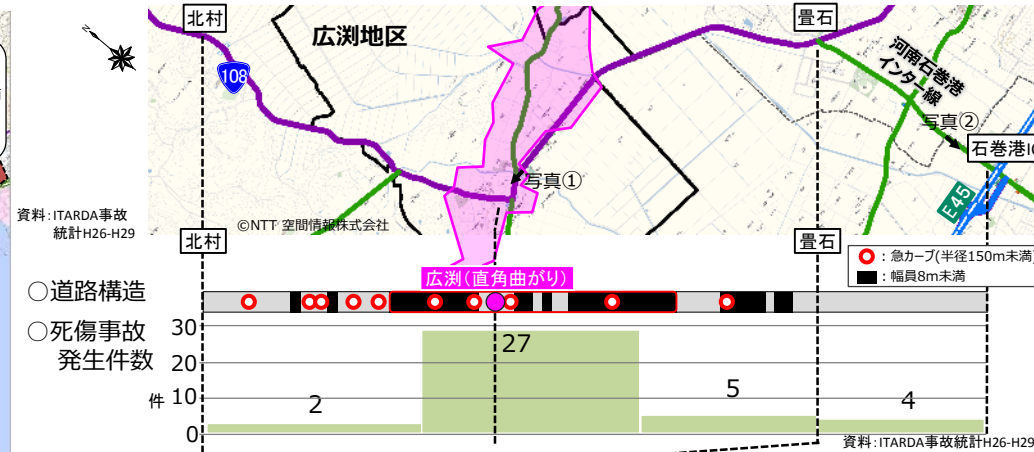
○石巻港から荷揚げされ加工された、製紙や木材・木製品は各地へトラックにより輸送されており、その内大崎以東の東北内陸への輸送は、県道河南石巻港インター線から畳石交差点を経て国道108号を主経路として利用されているため、I 区間は他の区間と比較し平均トリップ長が長く広域的な物流ネットワークとして機能

○物流経路となる県道河南石巻港インター線は20mの広幅員の幹線道路であり、物流車両の通行において問題は無いが、国道108号は幅員8m未満の狭隘区間や線形不良箇所が多いため走行性が悪く、その結果交通事故も多発しており、円滑な物流車両の走行に支障を来している

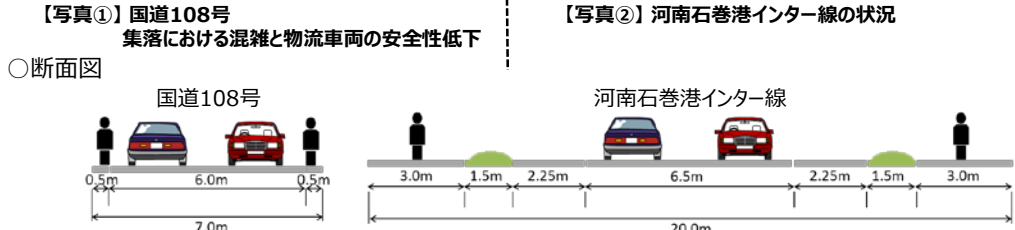
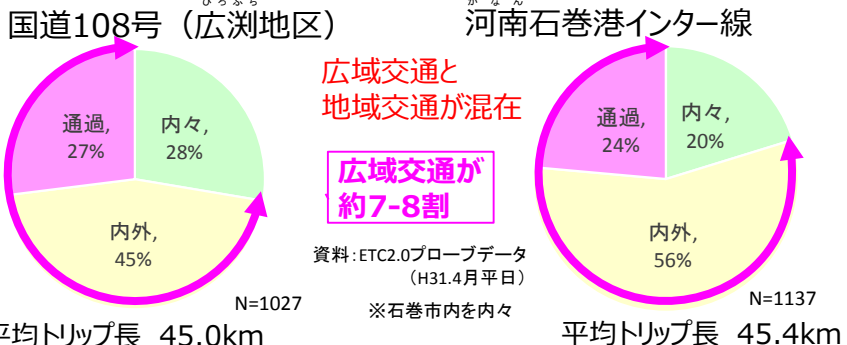
【図1】石巻港と内陸方面の発着車両の主な利用経路



【図3】広淵地区の交通課題と要因



【図2】国道108号と河南石巻インター線のOD分布



2-7. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（Ⅲ区間に並行する代替路）

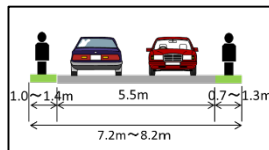
- Ⅲ区間は起点側の国道108号に並行し配置される(主)石巻鹿島台色麻線は、三陸道石巻河南ICのアクセス道路として平成9年度に整備された4車線道路であり、当該区間と比較し広域幹線道路として利用されており、狭隘なⅢ区間を代替するバイパスとして十分な機能を発揮していることから、Ⅲ区間における幹線ネットワークとしての機能を活用する。
- 一方Ⅲ区間の現道108号は沿道施設への出入り等の生活道路としての利用されている状況であり、生活道路としての利用に対応した安全対策を地域と協力し検討を行う。

【図1】起点～孤継交差点間の国道108号と(主)石巻鹿島台色麻線の状況

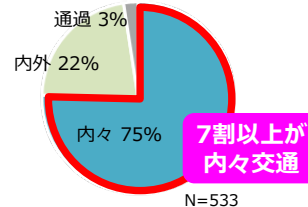


【写真①】丸井戸～孤継交差点の国道108号の道路状況

国道108号
 道路規格：第3種第3級、2車線、幅員8m
 交通量：約9,000台/日、交通容量：約9,900台/日
 歩行者交通量：130人/12h
 規制速度：40km/h



【図2】国道108号OD分布
 平均トリップ長 15.3km



【図4】国道108号の現道に寄せられた意見と対応

道路が狭く、通行者や自転車が車道にはみ出しており、危険。県道側にもっと交通を迂回させてほしい

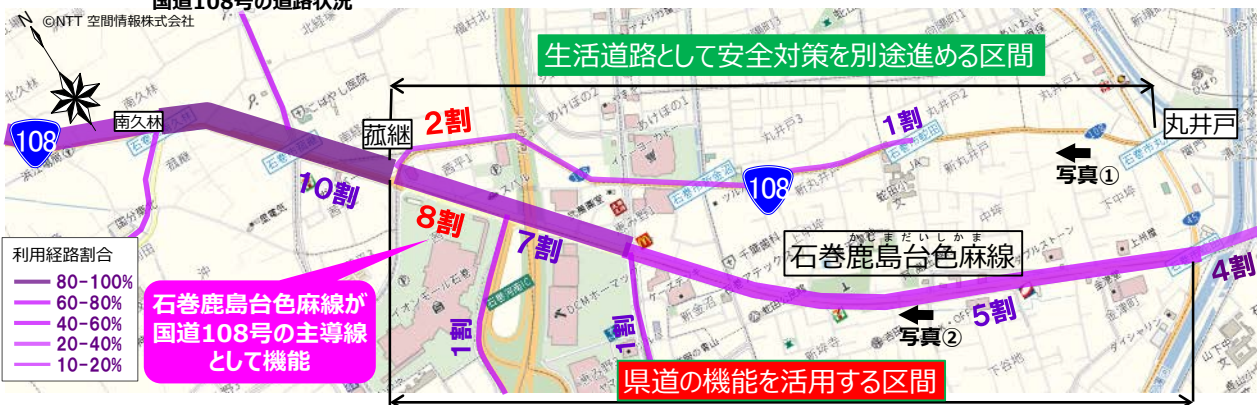
(石巻市／教育機関)

○これまで実施している安全対策



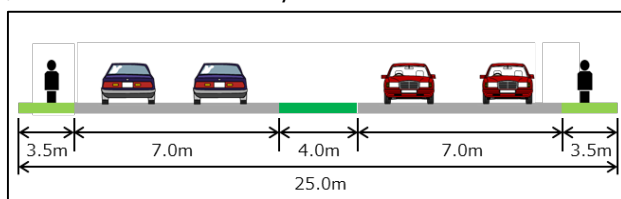
国道108号現道部のカラー舗装（歩行者通行帯の確保）

○引き続き利用に応じた現道の安全対策を検討

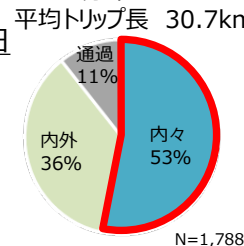


資料：ETC2.0プローブデータH31.4平日
 H26-H29ITARDA事故統計
 H17道路・交通センサス
 H27全国道路・街路情勢調査

主要地方道 石巻鹿島台色麻線
 道路規格：第4種第1級、4車線、幅員25m
 交通量：約27,000台/日、交通容量：約32,000台/日
 歩行者交通量：580人/12h、規制速度：60km/h



【図3】(主)石巻鹿島台色麻線OD分布
 平均トリップ長 30.7km



資料：ETC2.0プローブデータH31.4平日
 ※石巻市内を内々としている

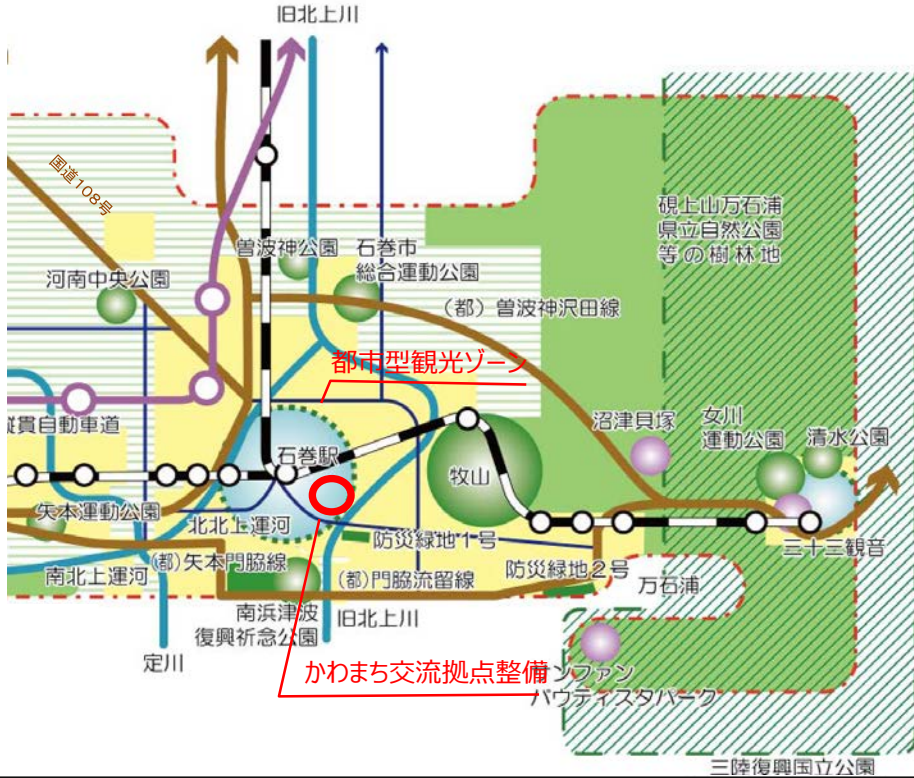


【写真②】石巻鹿島台色麻線の道路状況

2-7.意見聴取を踏まえた課題の再整理（観光・交流の拡大） 27

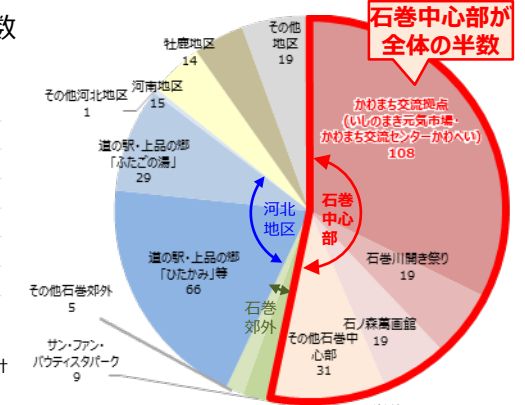
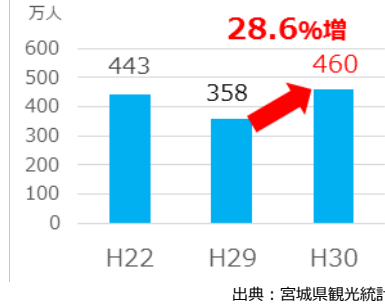
- 石巻都市計画区域における整備の方針として中心市街地を歴史・文化資源等活かした都市型観光ゾーンとする方向性が示されている(石巻広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針)
- 石巻市震災復興基本計画における観光業の再生復興として「新規観光戦略施設の整備」が示されており、中心市街地の活性化と連動したまちなか観光の推進とそれに伴う施設整備が進められ、新たなにぎわいが創出されている
- 都市構造の形成においても交流・観光を促進する拠点へのアクセス性に優れた広域道路ネットワークが求められている

【図1】石巻広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(R元5月)



【図3】石巻市内の観光客入込数の内訳

【図2】石巻圏域の観光客入込数



【図4】中心市街地に整備された観光戦略施設
中心市街地のにぎわいを生み出す
かわまち交流拠点整備

- ・水産業界の販路開拓貢献及び農産品の振興
- ・観光客だけでなく市民全体(特に中心市街地)の買い物等の利便性向上
- ・来訪者にとって魅力あふれる場とし、三陸エリアのゲートウェイとして交流人口を拡大
- ・川湊として栄えた歴史を踏まえプロムナードの整備によって、賑わいの空間を創出



凡 例					
	都市計画区域		河川		都市型観光ゾーン
	三陸縦貫自動車道		市街地		公園
	主要幹線道路		復興祈念公園・防災緑地		文化財等
	幹線道路(抜粋)		緑地		特別名勝松島等
	鉄道・駅				

	課題	原因
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ○主要幹線道路としての走行性及び安全性が低下 <ul style="list-style-type: none"> ・物流道路としての利用がありながら、幅員狭小、直角曲がり交差点があり、追突等の事故が多発 ・道幅が狭くカーブが多い区間では出会い頭の事故が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ○Ⅰ区間（^{たまたみし}壘石～^{きたむら}北村）で物流道路としての利用が多く、狭隘部における大型車が流入 ○Ⅱ区間（^{こもつぎ}菰継～^{たまたみし}壘石）は狭隘で交通量が多い
医療連携	<ul style="list-style-type: none"> ○三次救急医療施設への安定した救急搬送路がない <ul style="list-style-type: none"> ・国道108号は幅員が狭く、追い越しが難しい ・搬送経路には渋滞している交通のボトルネック区間を通過するためスムーズな搬送に影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○Ⅰ区間では^{かなん}河南地区からの出勤・搬送時に幅員狭小区間を通過する必要がある ○Ⅱ区間は震災後の開発に伴い交通量が増加し容量が不足、交通のボトルネック区間が存在
観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ○主要観光地への連絡性が悪い <ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光拠点を中心市街地に形成され、入込客数が増加 ・内陸部からの中心市街地へのアクセスにはボトルネック区間を通過する 	<ul style="list-style-type: none"> ○内陸部と中心市街地を連絡する観光交流の場合、交通のボトルネック区間の通過が伴う
地域産業支援	<ul style="list-style-type: none"> ○広域的な輸送を支える幹線道路が不足 <ul style="list-style-type: none"> ・石巻港から内陸方面への輸送経路として幅員狭小、直角曲がり区間を通過するため、大型車の走行に支障 ・車両サイズを下げるなど、運行台数を増やして輸送している 	<ul style="list-style-type: none"> ○内陸部への輸送には、Ⅰ区間の隘路区間を通過が伴うため、大型車等の広域交通に適した幹線道路がない
緊急輸送	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急輸送道路として脆弱 <ul style="list-style-type: none"> ・現道は狭隘区間があり、内陸からの緊急輸送が必要な時、狭隘区間を抱えた経路となり、災害時にも機能するネットワークが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時においても、内陸部と石巻を結ぶ信頼性の高い緊急輸送道路がない

政策目標（素案）

幹線道路としての走行性及び安全性の確保

三次救急医療施設へのアクセス性強化

観光交流を支えるネットワークの確保

地域産業を支える幹線道路の確保

防災拠点への輸送確実性

3. 政策目標の設定

○地域の意見聴取（第1回）の結果から、「幹線道路としての走行性及び安全性の確保」、「三次救急医療施設へのアクセス性強化」、「観光交流を支えるネットワークの確保」、「地域産業を支える幹線道路の確保」、「防災拠点への輸送確実性」の5項目を政策目標とする。

	安全・安心	医療連携	観光・交流	地域産業支援	緊急輸送
状況と課題の地域・道路の	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域交通が多く、産業拠点である石巻港から内陸方面への物流道路としての利用がありながら、幅員が狭く直角曲がりの交差点があり追突等の事故が多発、主要幹線道路としての走行性及び安全性の低下が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県北地域で唯一、小児科のある石巻市夜間急患センターは、石巻赤十字病院隣に移転し大崎市等からも患者数が増加。 ■ 国道108号は幅員が狭く、救急搬送時に追い越しが難しく、交通のボトルネック区間を通過するため、三次救急医療施設へ安定した救急搬送路の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石巻市中心市街地の新たな観光施設により、石巻圏域は震災前の水準を上回るまで回復。 ■ 中心市街地のアクセスにはボトルネック区間を通過することから、観光交流促進のため主要観光地への連絡性確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道108号は内陸方面へのパルプ・製紙業、木材・木製品製造業等の輸送ルートであるが、幅員狭小・急カーブ区間での輸送のため速度が低下するほか、車両サイズを下げた輸送を強いられている。 ■ 内陸部への輸送には隘路区間の通過が伴うため、大型車等の広域的な輸送を支える幹線道路の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東日本大震災時、国道108号が内陸からの救援ルートとして活用。 ■ 現道には狭隘区間があり災害時の内陸からの緊急輸送が必要となった場合に狭隘区間を抱えた経路となるため、災害時にも機能するネットワークが必要であり、緊急輸送道路として脆弱であることが課題。
地域の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高速交通体系の整備や利便性の向上 【石巻市都市計画マスタープラン】 ■ 国道・県道の整備を促進 【石巻市総合計画】 ■ 交通事故の発生を防止 【石巻市総合計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域医療の復旧・復興 【石巻市震災復興基本計画】 ■ 地域の保健・医療・福祉の再構築 【宮城県震災復興計画】 ■ 消防・救急救助を充実、防災意識の向上と円滑な避難体制をつくる 【石巻市総合計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光業・施設の再生復興 【石巻市震災復興基本計画】 ■ 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化 【宮城県の将来ビジョン】 ■ 国際観光機能等の強化 【石巻広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工業の再生復興、産業の活性化と新産業の育成 【石巻市震災復興基本計画】 ■ 水産業等の復旧・復興と産業拠点の形成 【石巻広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】 ■ 地域を支える商工業の振興、石巻港の整備・利用促進 【石巻市総合計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 震災からの復旧・復興と災害に強い市街地の形成 【石巻広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】 ■ 災害に強い道路網 【石巻市震災復興基本計画】 ■ 災害に強い県土・国土づくりの推進 【宮城県震災復興計画】
住民や事業者への意見聴取結果	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民・事業者ともに、約9割が地域の課題と認識 ◆ 「急カーブ」「幅員狭小区間」「直角曲がり」に関する意見が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民・事業者ともに、約8割が地域の課題と認識 ◆ 「幅員狭小や渋滞箇所におけるスムーズな搬送への影響」に関する意見が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民の約7割、事業者の約6割が地域の課題と認識 ◆ 「中心市街地の活性化と周遊観光に対応する道路整備」に関する意見が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民の約8割、事業者の約9割が地域の課題と認識 ◆ 「内陸方面への物流の効率化」「広瀨地区の大型車走行支障」に関する意見が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民・事業者ともに、約9割が地域の課題と認識 ◆ 「内陸部からの災害時の緊急車両の通行」に関する意見が寄せられた。

政策目標

1. 幹線道路としての走行性及び安全性の確保

2. 三次救急医療施設へのアクセス性強化

3. 観光交流を支えるネットワークの確保

4. 地域産業を支える幹線道路の確保

5. 防災拠点への輸送確実性

4. 対応方針（ルート帯案）の検討

◆地域の意見聴取（第1回）の結果から、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を以下に整理した。

政策目標

1. 幹線道路としての
走行性及び
安全性の確保

2. 三次救急医療
施設へのアクセ
ス性強化

3. 観光交流を支
えるネットワー
クの確保

4. 地域産業を支
える幹線道路
の確保

5. 防災拠点への
輸送確実性

課題に
対する
地域の
意見

・ 広^{ひろ}淵^{ぶち}地区の直角曲がり交差点における大型車のすれ違いが困難
・ 菰^{こも}継^{つぎ}～畳^{たた}石^{いし}は道路が狭くカーブが多くて見通しが悪い

・ 幅員が狭く追い越しがしにくいところ、交通量が多く渋滞しているところなどスムーズな患者の搬送に影響

・ 新たな観光拠点が市街地に集積
・ 内陸部からの市街地観光拠点へのアクセス性が悪い

・ 道幅も狭く、急カーブが多いため、大型車の通行が困難
・ 道路構造に伴う分割輸送による非効率な運送

・ 災害時に沿線家屋の倒壊で道路が使えなかった
・ 災害時の渋滞による緊急車両への通行阻害

必要
な
機能

・ 現道の交通課題箇所を解消し走行性と安全性が確保できるか

・ 河南^{かなん}地区から三次救急医療施設への所要時間を短縮し救急搬送路を確保できるか

・ 内陸部から石巻市街地の主要観光地への連絡性が確保できるか

・ 内陸方面と石巻港や須江^{すえ}地区の産業拠点とのアクセス性が向上できるか

・ 災害時に内陸方面から防災拠点への輸送確実性が確保できるか

その
他
配慮
す
べき
事項

・ 土地利用への影響

・ 自然環境への影響

・ 経済性

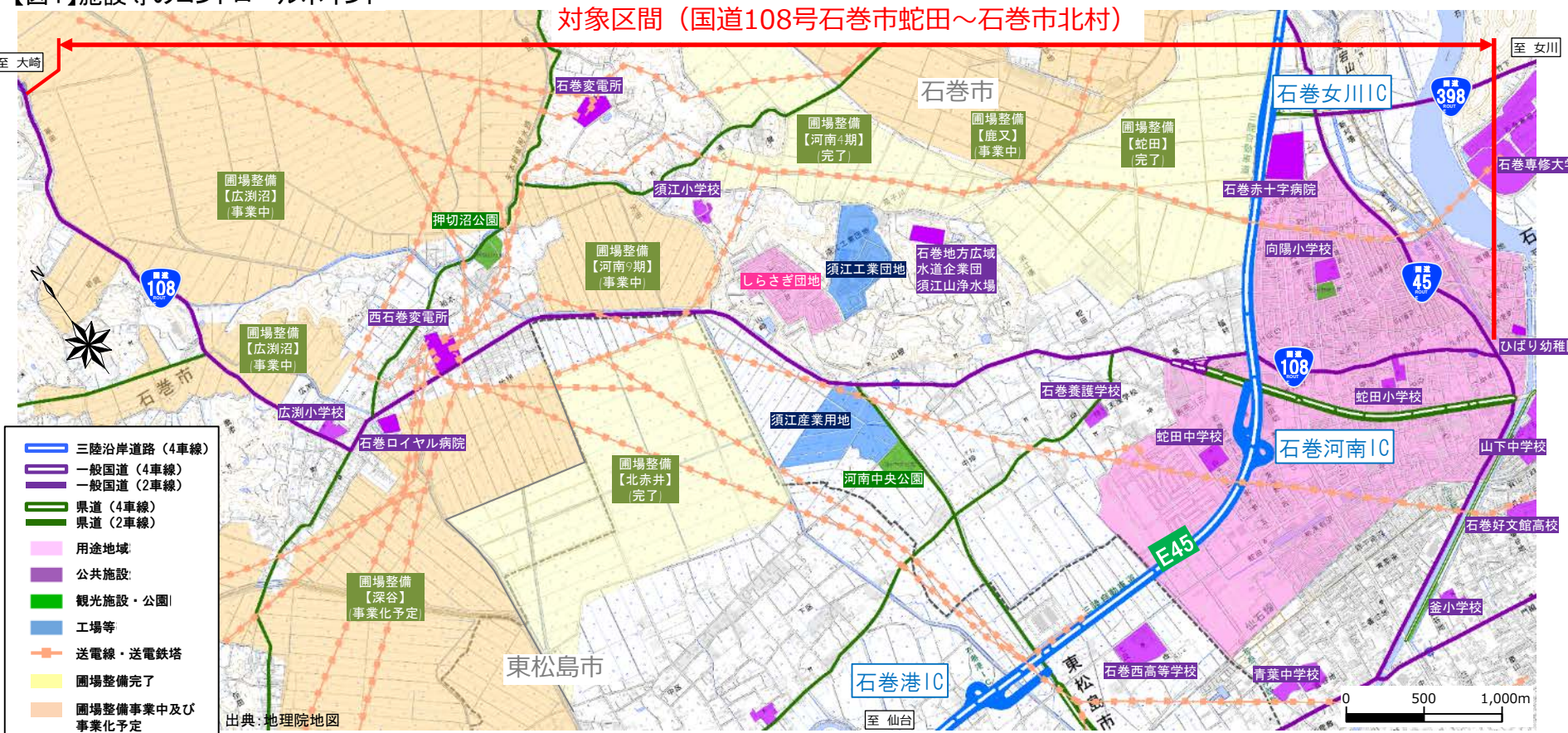
4-2. 対応方針（ルート帯案）のコントロールポイント

- 対策案のコントロールポイントとしては、施設（学校・病院等）等を設定した。
- 既に土地整備がされている工業団地や整備中の圃場等には極力影響が少なくなるよう、配慮を行った。

コントロールポイント	◆学校 ◆病院 ◆公園 ◆用途地域
配慮すべき事項	◆変電所、送電線、鉄塔 ◆工業団地、工場、◆圃場整備区域(整備中) ◆重要な動植物 ※ルート帯確定後の詳細設計段階で生息域などに考慮する

※コントロールポイントとは、道路上の利便性を考慮して通過すべき地点や、社会的影響が大きく回避すべき建物等

【図1】施設等のコントロールポイント



○既存文献から重要な動植物が確認されているため、影響への配慮が必要である。

【図1】対象区間周辺の指定文化財、重要種等の分布



【重要な種の選定基準】

- 文：文化財保護法(昭和25年法律第214号)
 - ・特天：特別天然記念物
 - ・天：天然記念物
- 種：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年法律第75号)
 - ・国内：国内希少野生動植物種
 - ・国際：国際希少野生動植物種
 - ・緊急：緊急指定種
- 環：環境省報道発表資料 環境省レッドリスト2019の公表について(環境省 2019年)
 - ・EX：絶滅
 - ・EW：野生絶滅
 - ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類
 - ・CR：絶滅危惧ⅠA類
 - ・EN：絶滅危惧ⅠB類
 - ・VU：絶滅危惧Ⅱ類
 - ・NT：準絶滅危惧種
 - ・DD：情報不足
 - ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 県：宮城県県の希少な野生動植物-宮城県レッドデータブック2016-(宮城県 2016年)
 - ・EX：絶滅
 - ・EW：野生絶滅
 - ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類
 - ・VU：絶滅危惧Ⅱ類
 - ・NT：準絶滅危惧種
 - ・DD：情報不足
 - ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群
 - ・要：要注目種

動物

■対象区間周辺で生息可能性のある主な重要な動物種は、以下のとおりである。

哺乳類	カモシカ(文特天・県要)
鳥類	ミサゴ(環NT)、オオタカ(環NT・県NT)、サシバ(環VU・県VU)、ハヤブサ(種国内・環VU・県NT)、ヨシゴイ(環NT・県NT)、チュウサギ(環NT)、マガン(文天・環NT)、オオジシギ(環NT・県NT)
両生類	トウホクサンショウウオ(環NT・県NT)、トノサマガエル(環NT・県要)、トウキョウダルマガエル(環NT・県NT)
爬虫類	ニホンイシガメ(環NT・県DD)
昆虫類	コオイムシ(環NT・県NT)、オオムラサキ(環NT)、チビアオゴムシ(環EN・県NT)、コガムシ(環DD)、クロマルハナバチ(環NT)
魚類	スナヤツメ(環VU・県NT)、ニホンウナギ(環EN・県NT)、ミナミメダカ(環VU・県NT)
底生動物	ヤマトシジミ(環NT)、マルタニシ(環VU)、オオタニシ(環NT)



オオタカ(環NT・県NT)



トノサマガエル(環NT・県要)



ニホンウナギ(環EN・県NT)

(写真の出典：「図鑑日本のワシタカ類」、「日本動物大百科両生類・爬虫類・軟骨魚類」、「川の生物図典」)

植物

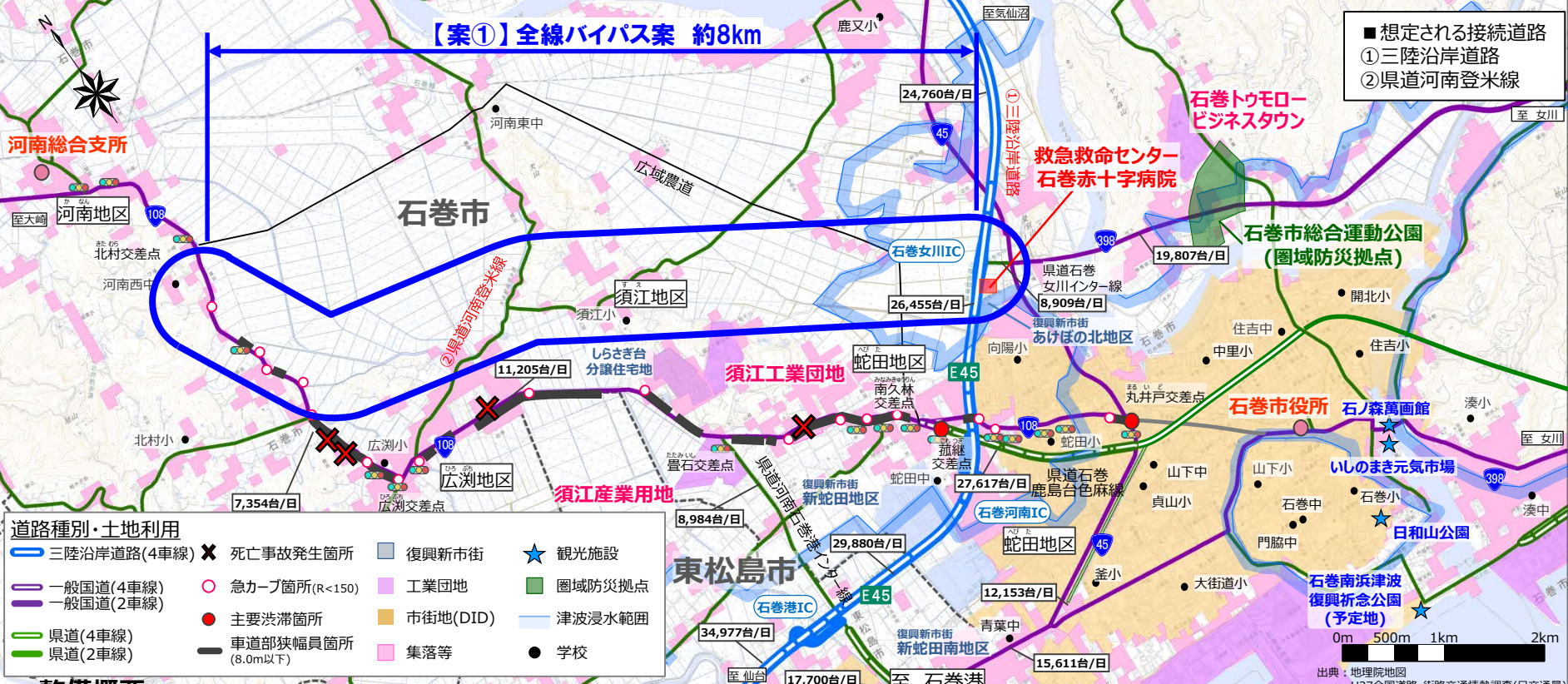
■対象区間周辺で生育可能性のある主な重要な植物種は、以下のとおりである。

植物	ナンブワチガイソウ(環VU・県NT)、カザグルマ(環NT・県VU)、イヌタヌキモ(環NT・県VU)、ミズアオイ(環NT)
----	--

※出典：

- 「第2回～第6回自然環境保全基礎調査 動物植物分布調査」(環境省自然環境局 生物多様性センター)
- 「宮城県の鳥類分布」(2002年 日本野鳥の会宮城県支部)
- 「宮城県の両生類・は虫類」(2002年 宮城野野生動物研究会)
- 「宮城県昆虫分布資料1～25」(1989～2005年、保谷、斎藤、見玉)
- 「宮城県植物目録」(2000年 宮城植物の会・宮城県植物誌編集委員会)
- 「石巻市自然確認調査結果報告書」(平成19年度～平成30年度 石巻市)
- 「石巻の歴史 第3巻 民族・生活編」(1988年 石巻市史編さん委員会/編)
- 「河南町史 上」(1967年 河南町誌編集委員会/編)
- 「矢本町史 第1巻」(1973年 矢本町史編集委員会/編)

- 対象区間を全線バイパスにより石巻女川ICに最短で接続する案。
- バイパス整備により道路交通の機能分担を図り、主要幹線道路についての機能を確保。
- 併せて救急医療施設や防災拠点へのアクセス向上を図る案。



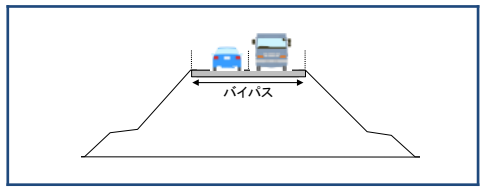
■ 整備概要

延長	約8km
構造	土工等
コスト	約260～310億円
サービス速度	60km/h

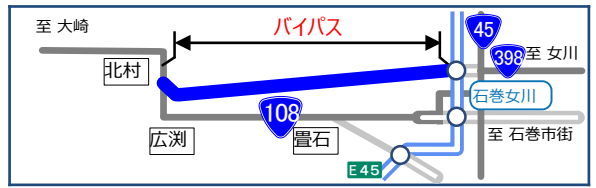
■ ポイント

- ・石巻女川ICを起点とし、現道の課題箇所を全線バイパスにより回避し、主要幹線道路としての機能を確保。
- ・周辺道路との交差をアクセスコントロールすることにより、安全性・円滑性を確保
- ・石巻赤十字病院、防災拠点へのアクセス性が向上し、所要時間も短縮

■ 断面図 (イメージ)

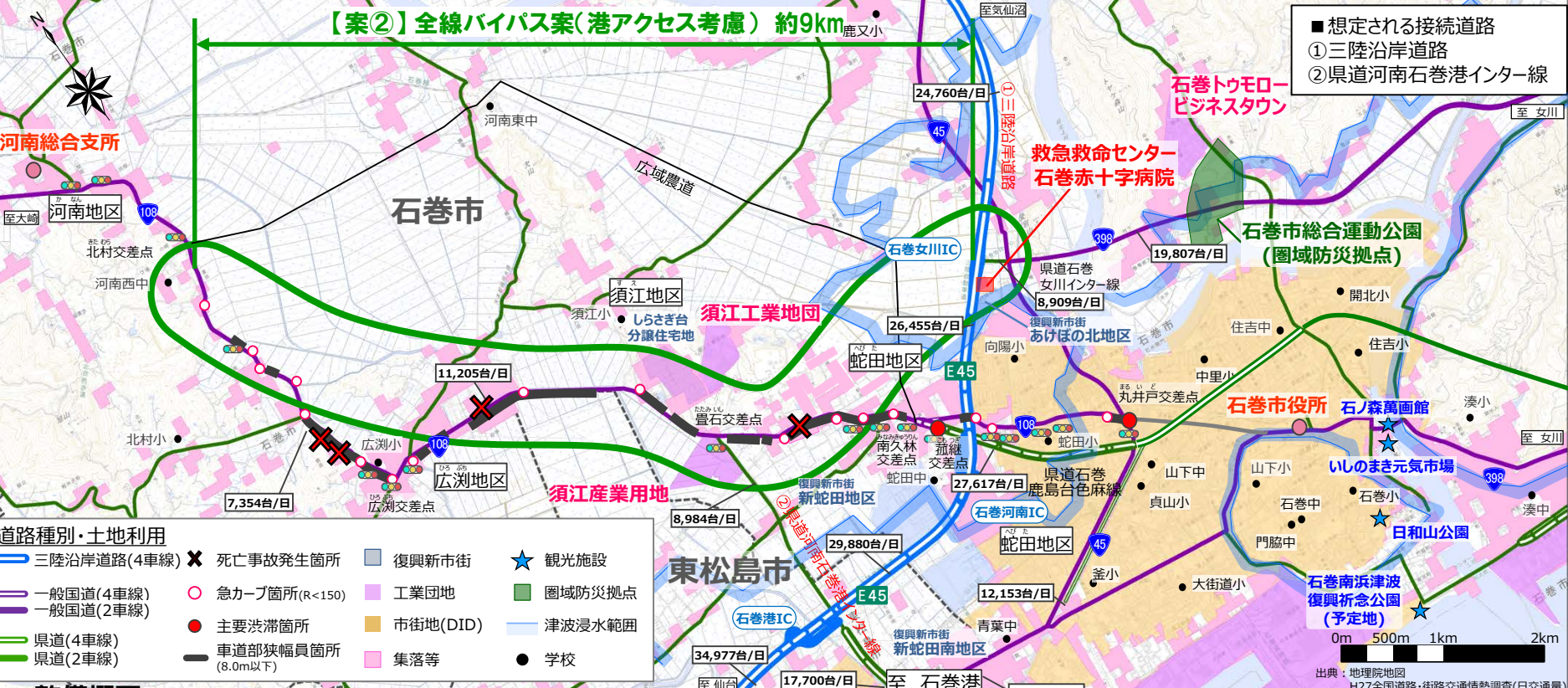


■ 整備イメージ



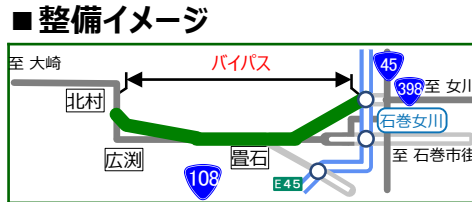
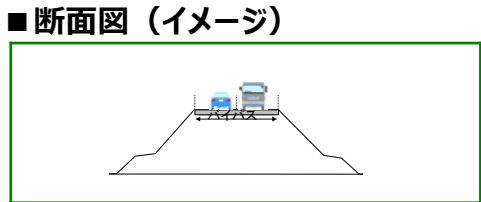
4-3. ルート帯案の検討【案②：全線バイパス案（港アクセス考慮）】

○対象区間を石巻港へのアクセスを考慮し途中で県道に接続、さらに石巻女川ICにバイパスで接続する案。
 ○バイパス整備により道路交通の機能分担を図り、主要幹線道路についての機能を確保。
 救急医療施設や防災拠点に加え、石巻港へのアクセス向上を図る案。



■ 整備概要

延長	約9km
構造	土工等
コスト	約230~280億円
サービス速度	60km/h

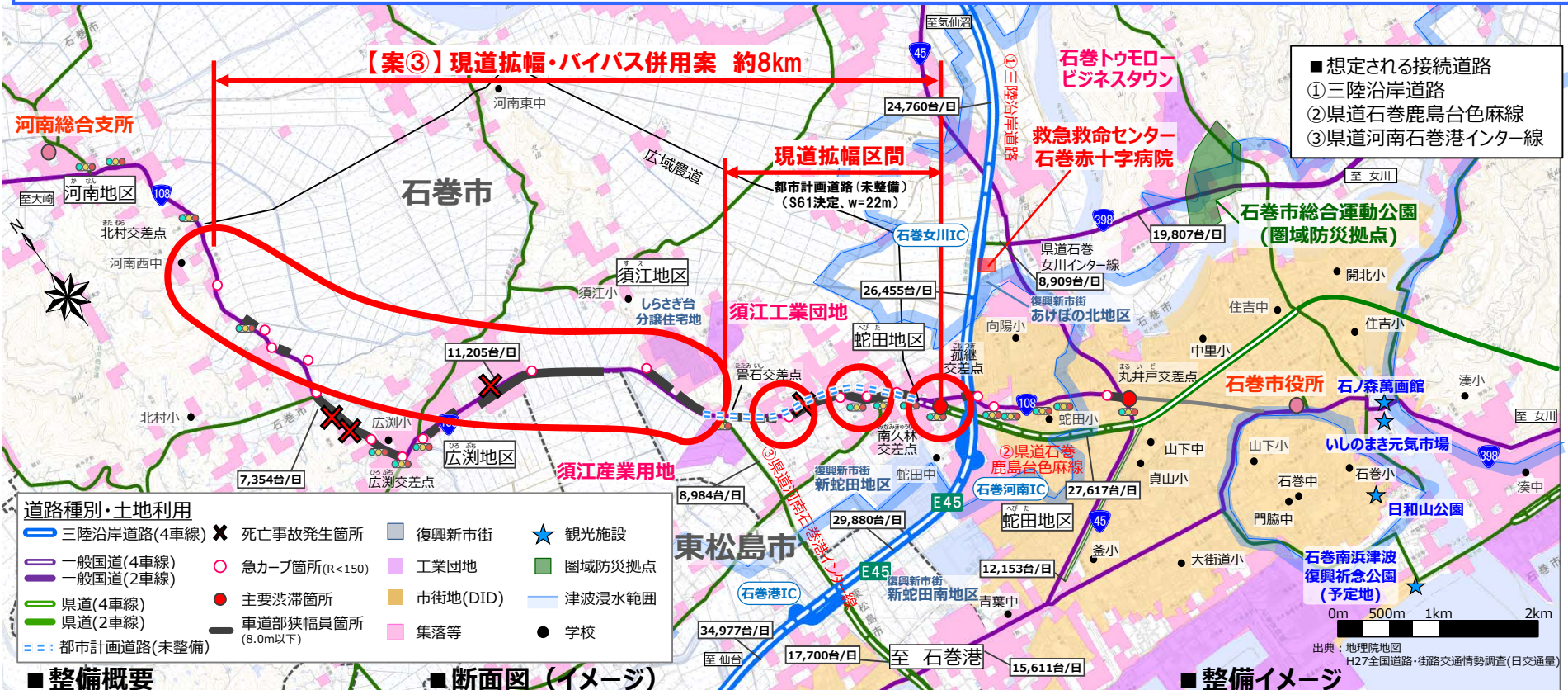


■ ポイント

・石巻女川ICを起点とし、課題の大きい蛇田地区、広瀨地区をバイパスにより回避し、主要幹線道路としての機能を確保し、県道経由で石巻港へ接続
 ・周辺道路との交差をアクセスコントロールすることにより、安全性・円滑性を確保
 ・石巻港、石巻赤十字病院、防災拠点へのアクセス性が向上し、所要時間を短縮

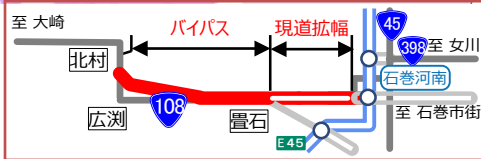
4-3. ルート帯案の検討【案③：現道拡幅・バイパス併用案】

○対象区間を石巻港へのアクセスを考慮しバイパスで県道に接続、さらに石巻河南ICに向け現道拡幅する案
 ○広瀨地区は道路交通の機能分担を図り、蛇田地区は交通容量の拡大により主要幹線道路としての機能を確保。
 併せて石巻港及び石巻市街地へのアクセス向上を図る案。



■ 整備概要

延長	約8km
構造	土工等
コスト	約170~220億円
サービス速度	60km/h



■ ポイント

内容

- ・ 狐塚交差点を起点とし、渋滞等の課題のある蛇田地区は現道拡幅、広瀨地区はバイパスにより回避し、主要幹線道路としての機能を確保
- ・ 広瀨地区は周辺道路との交差をアクセスコントロールし、蛇田地区は現道拡幅とあわせ線形改良を行い、安全性・円滑性を確保(既存都市計画道路の活用を検討)
- ・ 中心市街地の観光交流拠点へアクセス性が向上
- ・ 石巻港へのアクセス性が向上し、所要時間も短縮
- ・ 石巻赤十字病院、防災拠点には石巻河南IC経由でアクセスし、所要時間も短縮

- 政策目標を達成するために求められる機能について整理し、評価項目を設定した。
- 配慮すべき事項については、道路整備による影響等を考慮し、評価項目を設定した。

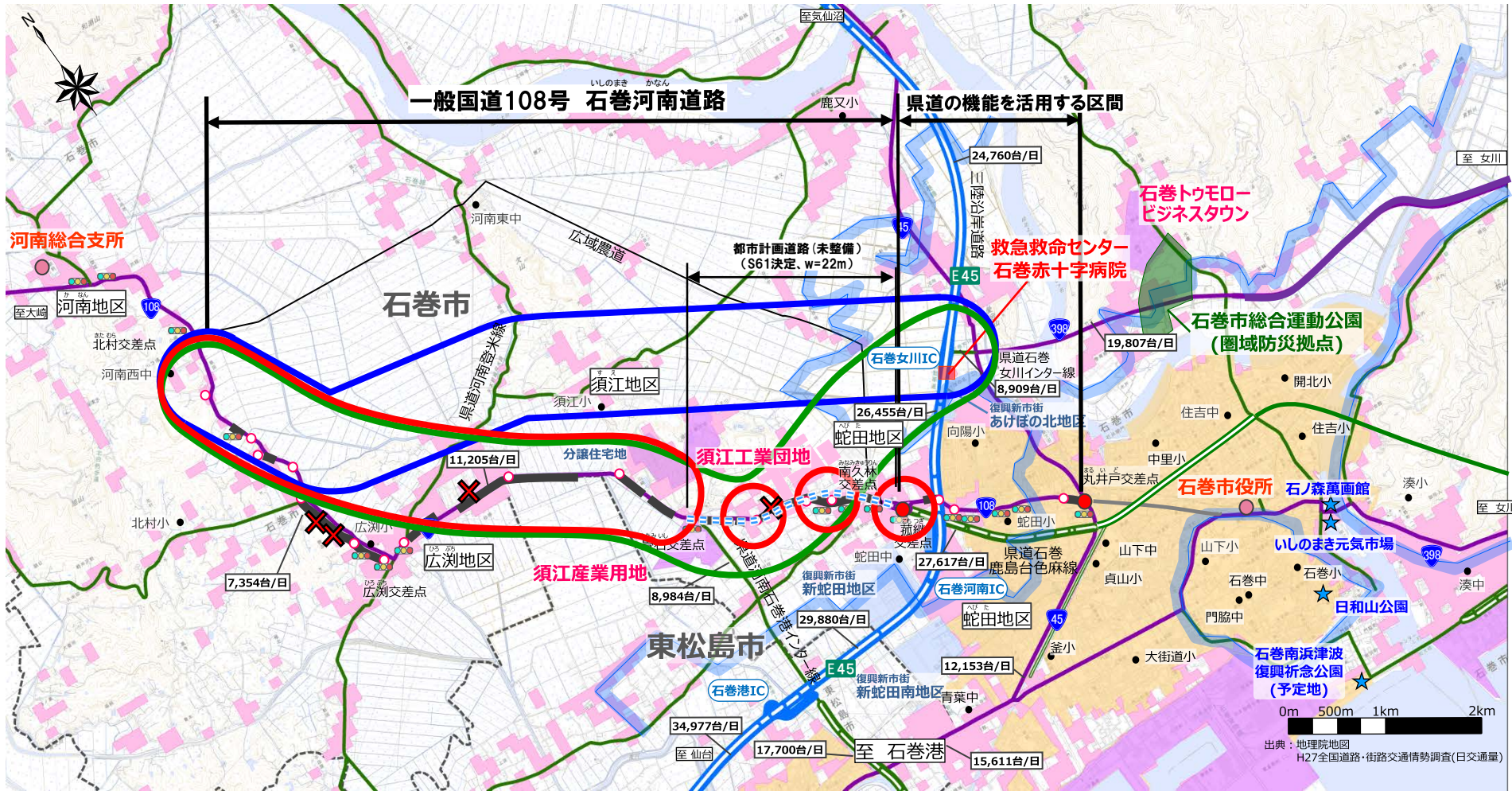
◆評価項目の設定

【表1】評価項目の設定

課題の項目	政策目標	求められる機能	評価項目
安全・安心	幹線道路としての走行性及び安全性の確保	広 ^{ひろ} 渚 ^{ぼち} 地区の急カーブ・幅員狭小区間による混雑を解消し、走行性及び安全性が確保できるか	走行性及び安全性の向上
医療連携	三次救急医療施設へのアクセス性強化	河 ^か 南 ^{なん} 地区から三次救急医療施設への救急搬送経路の確保と所要時間を短縮できるか	三次救急医療施設への搬送経路の確保と所要時間短縮
観光交流	観光交流を支えるネットワークの確保	内陸部から石巻市街地の主要観光地への連絡性が確保できるか	主要観光地への連絡性
地域産業支援	地域産業を支える幹線道路の確保	石巻港や須江地区の産業拠点とのアクセス性が向上できるか	産業拠点(石巻港・須 ^す 江 ^え 地区)とのアクセス性
緊急輸送	防災拠点への輸送確実性	災害時に内陸方面から防災拠点への輸送確実性が確保できるか	内陸方面からの防災拠点への輸送確実性

【表2】配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
土地利用への影響	集落の分断・影響
自然環境への影響	地形の改変
経済性	整備に関する費用



出典：地理院地図
H27全国道路・街路交通情勢調査(日交通量)

道路種別・土地利用	
三陸沿岸道路(4車線)	死亡事故発生箇所
一般国道(4車線)	急カーブ箇所(R<150)
一般国道(2車線)	主要渋滞箇所
県道(4車線)	車道部狭幅員箇所(8.0m以下)
県道(2車線)	都市計画道路(未整備)
復興新市街	観光施設
工業団地	圏域防災拠点
市街地(DID)	津波浸水範囲
集落等	学校

ルート帯案	
	【案①】全線バイパス案
	【案②】全線バイパス案(港アクセス考慮)
	【案③】現道拡幅・バイパス併用案

4-5. ルート帯案の比較

評価軸		【案①】全線バイパス案 約8km ＜サービス速度60km/h＞	【案②】全線バイパス案 (港アクセス考慮) 約9km ＜サービス速度60km/h＞	【案③】現道拡幅・バイパス併用案 約8km ＜サービス速度60km/h＞
車線数		2車線	2車線	2～4車線
ルート概要		・全線バイパスにより、石巻女川IC <small>おながわ</small> に最短で接続する案	・石巻港へのアクセスを考慮し途中で県道に接続、さらに石巻女川IC <small>おながわ</small> にバイパスで接続する案	・石巻港へのアクセスを考慮しバイパスで県道に接続、さらに石巻河南IC <small>かみなん</small> に向け現道拡幅する案
政策目標	①幹線道路としての走行性及び安全性の確保	・走行性及び安全性の向上	・バイパス整備により、現道との交通分担を図り、走行性と安全性を確保	・広瀨地区 <small>ひろぶち</small> をバイパス整備、蛇田地区 <small>へびた</small> を現道拡幅・歩道整備により整備し、走行性と安全性を確保
	②三次救急医療施設へのアクセス性強化	・三次救急医療施設への搬送経路と所要時間短縮	・石巻赤十字病院に直結し、所要時間が短縮	・三沿道を介してのアクセスで、所要時間はやや短縮
	③観光交流を支えるネットワークの確保	・主要観光地への連絡性	・石巻市街地の主要観光地へのアクセスに変化はない	・石巻市街地の主要観光地へのアクセスが向上し、広域移動に対応
	④地域産業を支える幹線道路の確保	・産業拠点(石巻港・須江地区)とのアクセス性	・石巻港 <small>すえ</small> や須江地区とのアクセス性に変化はない	・石巻港インター線に直結し、港や須江地区とのアクセス性は向上
	⑤防災拠点への輸送確実性	・内陸方面からの防災拠点への輸送確実性	・バイパス整備により圏域防災拠点への輸送確実性を確保	・バイパスと現道機能強化(拡幅)により、三沿道を介し圏域防災拠点への輸送確実性を確保
配慮すべき事項	○土地利用への影響	・全線バイパスにて整備され、集落を回避 ・支障家屋数: 約30軒*	・全線バイパスにて整備されるが、集落の分断が生じる ・支障家屋数: 約60軒*	・現道拡幅区間には既に都市計画決定されている区間があり、活用することで影響は少ない ・支障家屋数: 約40軒*
	○自然環境への影響	・地形の改変	・全線バイパスにて整備されるため、地形の改変に伴う影響がある	・バイパスにて整備する区間が最も短く、地形の改変に伴う影響は少ない
	○経済性*	・整備に関する費用	約260～310億円	約230～280億円

* 現時点での概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により数量・金額が変更となる場合がある。

5. 第2回意見聴取の実施方法（案）

5-1. 第2回意見聴取の対象者と方法（案）

- 第1回意見聴取の住民アンケートでは回収率が低く、地区毎でも回収率1～3%と低い結果となっており、利用頻度が少ない地区も存在するなど地区毎にばらつきが見られる状況。
- 対象自治体への聞き取りによると「アンケートの対象区間から離れている地区は回答する人が少なかった」「郵送の方が回答してもらえるのではないか」等の意見があったため、配布計画の見直しを検討。
- 地区毎の利用実態を確認した上で、利用頻度や利用交通が多く見込まれる地区は全戸郵送配布、その他地区は抽出郵送配布とすることで回収率の向上を図る。

【表1】第1回意見聴取 地区別の回収率及び利用頻度

市町村	地区名	回答数	配布数	回収率	108号の利用頻度※
石巻市	石巻	403	25,222	1.6%	70.0%
	蛇田	212	10,171	2.1%	85.4%
	河南	255	6,914	3.7%	96.5%
	稲井	50	2,488	2.0%	62.0%
	渡波	61	6,101	1.0%	70.5%
	荻浜	4	199	2.0%	50.0%
	河北	53	3,808	1.4%	73.6%
	北上	8	943	0.8%	75.0%
	桃生	28	2,380	1.2%	75.0%
	雄勝	6	642	0.9%	83.3%
東松島市	矢本	138	12,277	1.1%	68.8%
	鳴瀬	44	2,859	1.5%	56.8%
	不明他	26	75		
美里町	小牛田	58	7,331	0.8%	70.7%
	南郷	17	1,963	0.9%	70.6%
	不明他	10	75		
涌谷町		91	6,087	1.5%	87.9%
女川町		19	2,947	0.6%	78.9%
大崎市	古川	185	33,653	0.5%	48.1%
	鹿島台	30	2,093	1.4%	53.3%
	三本木	16	2,604	0.6%	50.0%
	松山	14	4,253	0.3%	64.3%
	田尻	35	4,215	0.8%	60.0%
	岩出山	27	2,811	1.0%	33.3%
	鳴子	20	3,518	0.6%	15.0%
	不明他	33	200		
	不明他	90	150		
	総合計		2,078	147,602	1.4%

※108号の利用頻度は「毎日～月数回」利用していると答えた割合

【表2】地区別の利用交通の割合

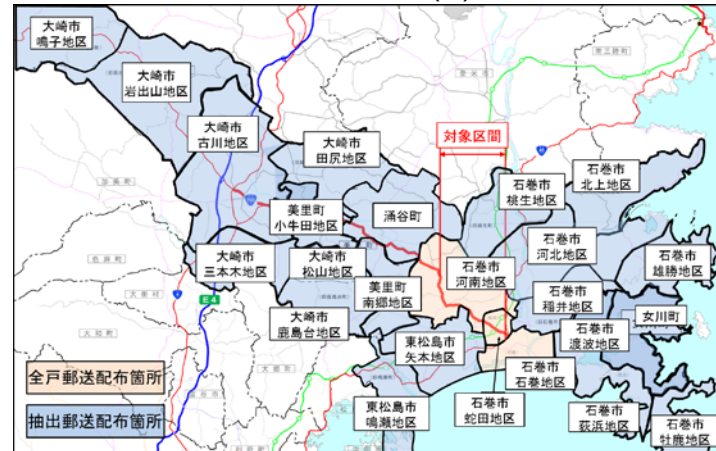
市町村/地区名	量石交差点		
	西断面	東断面	
石巻市	石巻	18.3%	23.4%
	蛇田	8.0%	16.5%
	河南	34.7%	27.8%
	稲井	1.4%	3.2%
	渡波	1.7%	2.0%
	荻浜	0.2%	0.3%
	河北	1.2%	0.6%
	北上	0.0%	0.0%
	桃生	0.3%	1.0%
	雄勝	0.1%	0.0%
東松島市	矢本	8.8%	9.4%
	鳴瀬	2.3%	0.0%
美里町	小牛田	2.0%	1.4%
	南郷	3.1%	1.5%
涌谷町		5.9%	2.6%
女川町		0.8%	0.7%
大崎市	古川	4.6%	2.6%
	鹿島台	0.0%	0.9%
	三本木	0.8%	0.6%
	松山	0.0%	0.0%
	田尻	0.2%	0.0%
	岩出山	0.1%	0.0%
その他		4.8%	5.0%

←量石交差点の西側及び東側の交通で利用の多い3地区

【図1】第1回意見聴取住民アンケート配布地区



【図2】第2回意見聴取住民アンケート配布地区(案)



5-1. 第2回意見聴取の対象者と方法（案）

- 第2回意見聴取は1回目意見照会の対象地域に、郵送配布によるアンケート調査を実施。
- 対象自治体において全戸に配られる広報誌に広告を掲載するなど、抽出郵送配布を補完する。

- 実施主体**：国土交通省、宮城県、石巻市、東松島市、女川町、涌谷町、大崎市、美里町
- 周知方法**：記者発表、新聞広告、集客施設等へのポスター掲示（URL,QRコードを記載）、広報誌へのQRコード記載、自治体HPでの情報提供、ラジオ放送、トラック協会・商工会議所等のHPへの記載・会員への周知
- 配布方法**：①全戸郵送配付：石巻市石巻・蛇田・河南地区、抽出郵送配布：石巻市（石巻・蛇田・河南地区以外）、東松島市、美里町、涌谷町、女川町、大崎市
②役所や道の駅、商業施設等へのアンケート用紙を設置 ③HP上でのWEBアンケート
- 回収方法**：①郵便 ②郵便+留め置き ③HP上での回答
- 意見聴取期間**：4週間程度
- 意見聴取の対象**

【表3】配布世帯数

配布方法	配布地区	配布世帯数
全戸郵送配布	石巻市石巻地区	43,360世帯
	石巻市蛇田地区	
	石巻市河南地区	
抽出郵送配布	石巻市（石巻・蛇田・河南地区以外）	7,680世帯
	東松島市	
	美里町	
	涌谷町	
	女川町	
	大崎市	
合計		51,040世帯

※配付数は、統計上必要な回収数を確保するために、想定される回収率を基に算出した。

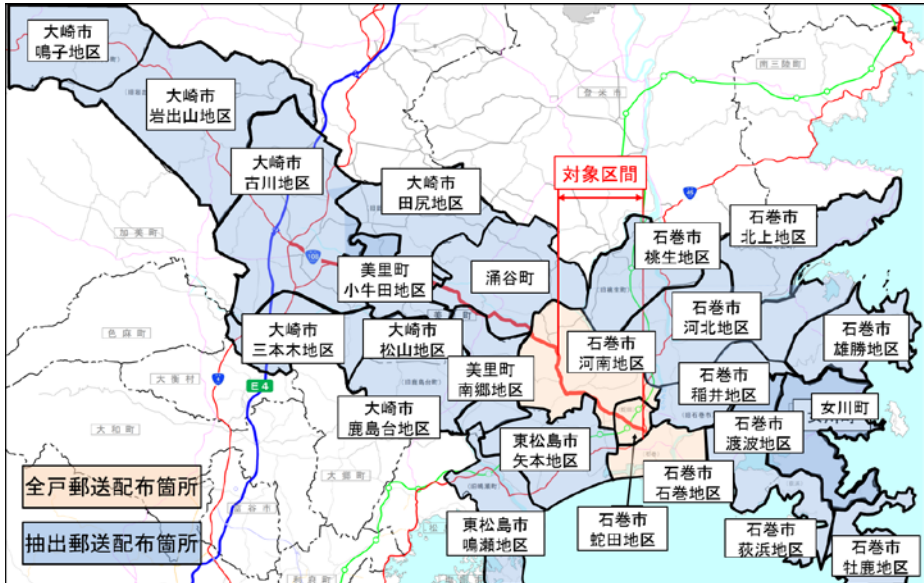
【表1】アンケートによる意見聴取の対象

項目	調査対象者	調査手法・規模
地域住民	・石巻市 ・女川町 ・大崎市 ・東松島市 ・涌谷町 ・美里町	全戸郵送配布(43,360票)、抽出郵送配布(7,680票) 合計51,040世帯 郵送回収 WEBアンケート
事業所等	・宮城県内の国道47号・108号沿線地域の企業 ・宮城県及び山形県のトラック協会会員企業	郵送配布・郵送回収 WEBアンケート
道路利用者	・広域の道路利用者	WEBアンケート 留置(市役所、役場、道の駅)

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

項目	調査対象者	
関係団体	○教育機関【8機関】	○福祉団体【2団体】
	○自治体【6団体】	○トラック協会【5団体】
	○観光協会【6団体】	○商工会、商工会議所【8団体】
	○主要企業【11社】	○消防機関【2団体】
	○医療機関【3機関】	○農業協同組合【2団体】
	○バス事業者【2団体】	○日本自動車連盟【1団体】
	○タクシー協会【1団体】	計57機関

【図1】第2回意見聴取住民アンケート配布地区(案)



○地域の意見聴取の内容は、地域・交通の課題を解消するために示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、特に重視すべき項目に関する質問を設定。

◆第2回地域の意見聴取の内容

意見聴取の項目	把握する意見	回答方法
属性	住所、性別、年齢、職業	単一選択
問1. 国道108号の道路利用状況	A. 主な利用頻度	単一選択
	B. 主な利用手段	単一選択
	C. 主な利用目的	単一選択
問2. ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目	ルート帯を検討する際に、重視すべきと思われる項目	複数選択
	選択肢以外で、重視すべきと思われる項目	記述式
問3. 重視すべき項目の選択理由	問2で回答した項目に対する具体的意見	記述式

① 調査概要およびアンケート回答例

一般国道108号(石巻河南道路)における
計画検討に関するアンケート【第2回】 5分程度で
回答可能
です

みなさまのご意見をお聞かせください

国道108号は石巻市と内陸部を結ぶ重要な路線ですが、そのうち石巻市河南地区では幅員が狭い箇所や急カーブの箇所が多いなど、多くの課題を抱えています。本アンケートは、これらの課題を解決する「石巻河南道路」の計画検討を行うにあたり、皆様のご意見をお聞かせ頂くための調査です。ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。皆様のご協力をお願いします。今回のアンケートでは、対策案を検討するにあたり、重視すべき事項について、皆様のご意見を伺うものです。

計画段階評価の流れ

- 計画段階評価手続きの進め方
- 地域、道路交通の現状と課題
- 意見聴取方法

第1回アンケート → 意見聴取結果の確認、政策目標の設定、対応方針案の検討 → **今回 第2回アンケート** → 意見聴取結果の確認、対応方針案の決定 → 対応方針の決定

東北地方小委員会の資料等は、国土交通省東北地方整備局のホームページでご覧頂けます。
<http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shouinkai/index.html>

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
宮城県・石巻市・東松島市・女川町・涌谷町・美里町・大崎町

「国道108号(石巻河南道路)の概ねのルート帯(案)」を
ご覧の上、アンケートにお答えください 資料2

<アンケート回答例(表面)> 住民用

◆返信方法
※下記のいずれかで返信してください。
①お近くの郵便ポストに投函してください。
②仙台河川国道事務所、宮城県庁石巻合同庁舎・大崎合同庁舎、各市町役場・支所、道の駅(上品の郷、あ・ら・伊達な道の駅、三本木やまなみ、おおさき)の回収ボックスに投函してください。

◆締切
アンケートへのご回答は、**令和●年●月●日(●)まで**にお願いします。

○より多くの方々のご意見をお聞きするため、アンケート回答はがきは各世帯に2通ずつ送付しております。
○さらにご協力頂ける場合は、お手数ですがお近くの市町村役場などに設置しているアンケート票をご利用頂くか、インターネットからの回答も可能です。

見本

郵便はがき
〒982-8790
宮城県仙台市太白区あすと長町4丁目1番の6号
国土交通省東北地方整備局
仙台河川国道事務所調査第二課

住所 〒(986)-(0861)
(宮城) 石巻 (市) 蛇田

性別 1 男性 2 女性 年齢 20 歳代

職業 1 会社員 2 公務員 3 農林業 4 漁業 5 林業 6 観光業
7 学生 8 主婦・主夫 9 無職 10 工業
11 無職・無業 12 無職 13 その他

問1 国道108号(石巻河南道路)の道路利用について、お答えします。(該当する1つに○を付けてください)

A 主な利用用途 1. 1人用自動車 2. 軽自動車 3. トラック
4. 用車・バス 5. 自転車 6. 利用しない

B 主な利用目的 1. 通勤 2. 公共交通(バス・タクシー)
3. 買い物 4. 自給 5. 散歩

C 主な利用目的 1. 通勤・通学 2. 通勤 3. 家事・買い物
4. 仕事(営業・配達等) 5. 観光・レジャー
6. その他

<アンケート回答例(裏面)>

問2 今回、ルート帯案の検討はしていますが、ルート案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。1~5以外に追加する項目がある場合は、19.その他に○をして内容をお書きください。

- 急カーブ・傾斜緩和(傾斜緩和)の解消により、道路が安全性が確保されること
- 石巻赤十字病院へ早く行けること
- 石巻赤十字病院方面への主要な幹線道路へスムーズに行けること
- 石巻市街地・周辺地域の産業地帯にスムーズに行けること
- 災害時に避難経路への輸送確保性を高めること
- 集落の分散(分散)が土地利用への影響が少ないこと
- 地形の急峻な点と自然環境への影響が少ないこと
- 整備に関する費用が安いこと
- その他()

問3 問2でチェックした項目に対する具体的な意見について、ご自由にお書きください。(自由回答)

◆計画段階評価の詳細情報は「東北地方整備局仙台河川国道事務所のHP」へアクセス願います。
◆インターネットによる回答を行う場合には、「国道108号石巻河南道路計画段階評価」で検索し、以下のQRコードからアクセスして頂くか、以下のQRコードよりアクセス、ご回答をお願いします。

国道108号 石巻河南道路 石巻市で
石巻河南道路
ご意見募集!!

◆アンケートに関するお問い合わせ先
仙台河川国道事務所 調査第二課
TEL 022-248-0048
FAX 022-248-4164

②地域や道路交通の課題・第1回意見聴取の結果について

区間毎の現状と課題

I. 物流経路

- 国道108号(I区間)は、産業拠点である石巻港から内陸方面への輸送経路として利用されています。
- この区間は幅員が狭く、直角曲がり交差点もあるため走行性が悪く、交通事故が多発するなど物流車両の走行に支障があります。

■石巻港~内陸方面の輸送経路の割合

II. 慢性的な混雑

- 石巻市蛇田地区は震災により被災を受けた地域の新たな住宅地として、また須江地区は新産業拠点として、開発が進められてきています。
- 国道108号(II区間)は、これらの地区と石巻河南C及び市中心部を連絡する区間であり、近年交通容量を上回る交通量となり慢性的に混雑しています。

■沿線の開発状況

■国道108号(II区間)の交通状況

III. 並行する代替路

- 国道108号(III区間)は、国道に並行する形で主要地方道石巻鹿島台色麻線が配置されています。
- 主要地方道石巻鹿島台色麻線は、4車線道路であり、III区間と比べて広域的な利用がされており、III区間の代替路として機能しています。

■国道108号(III区間)の概要

- 2車線 幅員8m 規制速度40km/h
- 4車線 幅員25m 規制速度60km/h

観光・交流

石巻市は観光業の再生復興に向け、中心市街地活性化と連動した新たな観光施設も整備され、にぎわいが創出されています。

交流・観光を促進するアクセス性に優れた広域道路ネットワークが求められています。

■石巻市の観光客入込状況

■石巻市内の観光客入込状況

第1回アンケート概要

■ 地域の課題に対する認識

住民アンケート (総回答数=4047)

- 安全・安心な交通の確保: 79% (90%)
- 医療施設への搬送経路: 56% (82%)
- 広域観光の促進: 47% (75%)
- 安定輸送や物流効率化: 55% (81%)
- 緊急時の輸送確保: 71% (89%)

事業者アンケート (総回答数=240)

- 安全・安心な交通の確保: 75% (91%)
- 医療施設への搬送経路: 53% (78%)
- 広域観光の促進: 34% (64%)
- 安定輸送や物流効率化: 63% (86%)
- 緊急時の輸送確保: 70% (89%)

Legend: 1=そう思う, 2=やや思う, 3=どちらとも思えない, 4=あまり思わない, 5=全く思わない, 6=無回答

- 直角曲がりやの広交差点では、大型車のすれ違い困難【安全・安心】
- 混雑~量石は道幅が狭く、時間によって渋滞する【安全・安心】
- 幅の広い県道が並行しているため車を通る【安全・安心】
- 道幅が狭く救急車での追い越しが困難【医療連携】
- 直角のカーブは救急車両等の通行に大きな支障がある【医療連携】
- 道幅も狭く、急カーブが多いため、大型車の通行は非常にむずかしい【地域産業支援】
- 中心部が盛り上がりない周辺地域は活性化できない【周辺観光】
- 過去の地震で河南地区(旧河南町)は、家屋の倒壊などで道路が使えず、医療品の確保など困難だった【緊急輸送】
- 震災時に渋滞があり救急車が通れなかった【緊急輸送】

評価項目の設定

課題の項目	政策目標	求められる機能	評価項目
安全・安心	幹線道路としての走行性及び安全性の確保	広刈地区の急カーブ・幅員狭小区間による混雑を解消し、走行性及び安全性が確保できるか	走行性及び安全性の向上
医療連携	三次救急医療施設へのアクセス強化	河南地区から三次救急医療施設への救急搬送経路の確保と所要時間短縮をできるか	三次救急医療施設への搬送経路の確保と所要時間短縮
観光交流	観光交流を支えるネットワークの確保	内陸部から石巻市街地の主要観光地への連絡性が確保できるか	主要観光地への連絡性
地域産業支援	地域産業を支える幹線道路の確保	石巻港や須江地区の産業拠点とのアクセス性が向上できるか	産業拠点(石巻港・須江地区)とのアクセス性
緊急輸送	防災拠点への輸送確実性	災害時に内陸方面から防災拠点への輸送確実性が確保できるか	内陸方面からの防災拠点への輸送確実性

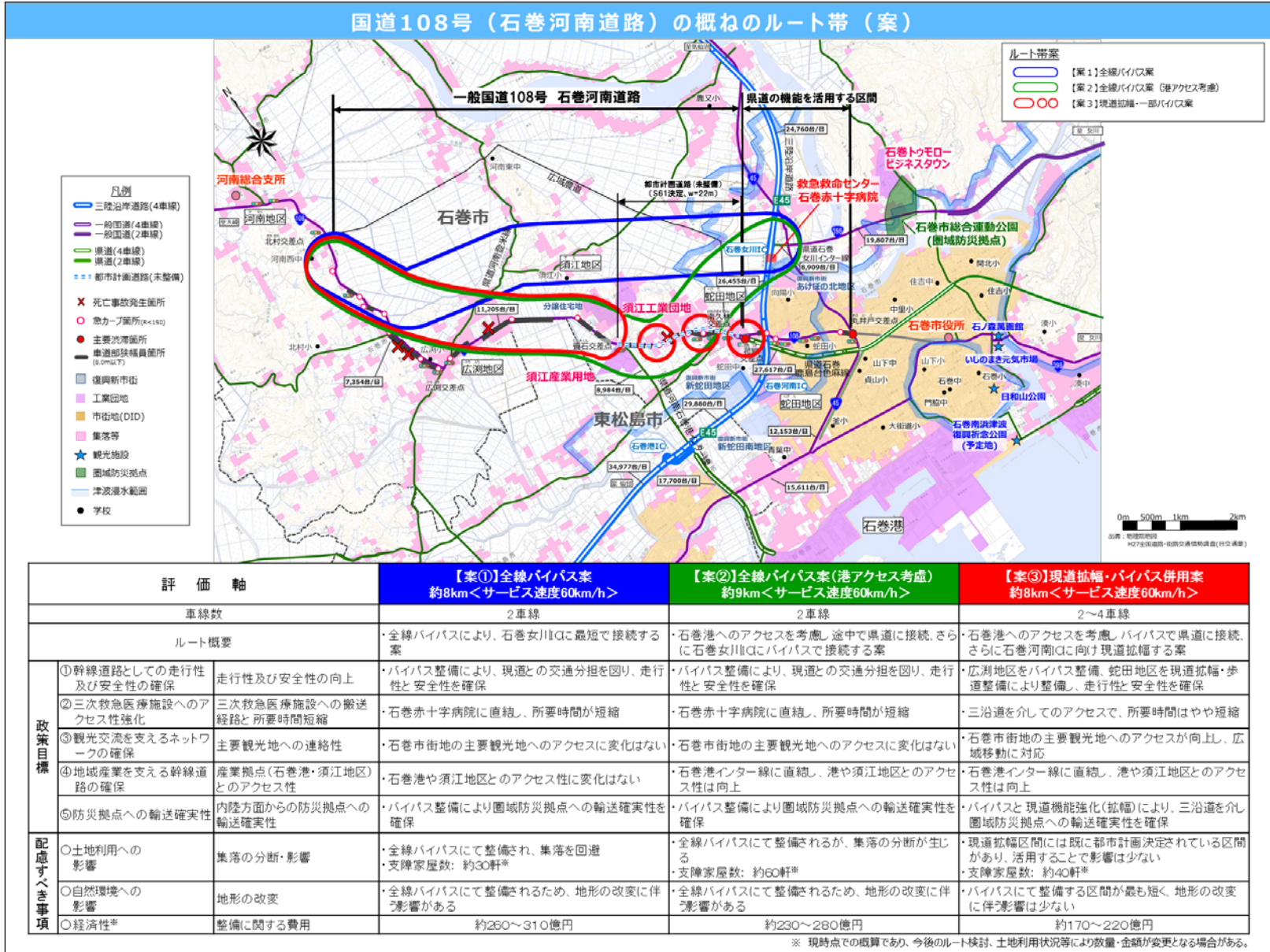
対応方針案(ルート帯案)の検討

【案1】全線バイパス案

【案2】全線バイパス案(港アクセス考慮)

【案3】現道拡幅・バイパス併用案

③ルート帯案の概要



④アンケート票

【アンケートはがき（表面）】

〒110-8501 宮城県仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第二課 行

982-8790

以下アンケートにご協力をお願いします。
※本アンケートで採集いただいた意見及び個人情報は、他の目的で利用したり、第三者に利用せたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください(記入または該当する番号に○)

住所 〒()-()
()県()市・町・村()

性別 1 男性 2 女性 年齢 歳代

職業 1. 会社員 2. 公務員 3. 農業 4. 漁業 5. 林業 6. 観光業
7. 学生 8. 主婦・主夫 9. 商業 10. 工業
11. 物流・輸送 12. 無職 13. その他()

問1 国道108号「石巻河南道路」の道路利用について、お聞かせください。
(該当する1つに○を付けてください)

A 主な利用頻度 1. ほとんど毎日 2. 週3~4回 3. 週1~2回
4. 月1~2回 5. 年1~2回 6. 利用しない

B 主な利用手段 1. 自動車 2. 公共交通(バス/タクシー)
3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

C 主な利用目的 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物
4. 仕事(営業・運送等) 5. 観光・レジャー
6. その他()

(1枚目)

【アンケートはがき（裏面）】

国道108号「石巻河南道路」第2回アンケート 回答欄

問2 今回、ルート案の検討をしていますが、ルート案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。
1~8以外に重視すべき項目がある場合は、19.その他に○をして内容をお書きください。

- 急カーブ・幅員狭小区間の解消により、道路の安全性が確保されること
- 石巻赤十字病院へ早く行けること
- 石巻から内陸方面への主要な観光地へスムーズに行けること
- 石巻港や須江地区などの産業拠点をスムーズに行けること
- 災害時に、防災拠点への輸送確実性を確保すること
- 集落の分断など土地利用への影響が少ないこと
- 地形の改変など自然環境への影響が少ないこと
- 整備に関する費用が安いこと
- その他()

問3 問2でチェックした項目に対する具体的な意見について、ご自由にお書きください。(自由回答)

(1枚目)

〒110-8501 宮城県仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第二課 行

982-8790

以下アンケートにご協力をお願いします。
※本アンケートで採集いただいた意見及び個人情報は、他の目的で利用したり、第三者に利用せたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください(記入または該当する番号に○)

住所 〒()-()
()県()市・町・村()

性別 1 男性 2 女性 年齢 歳代

職業 1. 会社員 2. 公務員 3. 農業 4. 漁業 5. 林業 6. 観光業
7. 学生 8. 主婦・主夫 9. 商業 10. 工業
11. 物流・輸送 12. 無職 13. その他()

問1 国道108号「石巻河南道路」の道路利用について、お聞かせください。
(該当する1つに○を付けてください)

A 主な利用頻度 1. ほとんど毎日 2. 週3~4回 3. 週1~2回
4. 月1~2回 5. 年1~2回 6. 利用しない

B 主な利用手段 1. 自動車 2. 公共交通(バス/タクシー)
3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

C 主な利用目的 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物
4. 仕事(営業・運送等) 5. 観光・レジャー
6. その他()

(2枚目)

国道108号「石巻河南道路」第2回アンケート 回答欄

問2 今回、ルート案の検討をしていますが、ルート案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。
1~8以外に重視すべき項目がある場合は、19.その他に○をして内容をお書きください。

- 急カーブ・幅員狭小区間の解消により、道路の安全性が確保されること
- 石巻赤十字病院へ早く行けること
- 石巻から内陸方面への主要な観光地へスムーズに行けること
- 石巻港や須江地区などの産業拠点をスムーズに行けること
- 災害時に、防災拠点への輸送確実性を確保すること
- 集落の分断など土地利用への影響が少ないこと
- 地形の改変など自然環境への影響が少ないこと
- 整備に関する費用が安いこと
- その他()

問3 問2でチェックした項目に対する具体的な意見について、ご自由にお書きください。(自由回答)

(2枚目)